

第三回 貴族院議事速記録第二十號

明治二十五年六月七日(火曜日)

午前十時五十分開議

議事日程 第二十號 明治二十五年六月七日

午前十時開議

第一 震災地方租稅特別處分法案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員報告)

第二 田畑地價特別修正法案(衆議院提出) 第一讀會ノ續

第三 版權法案(衆議院提出) 第一讀會

第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第五 政談集會及政社法案(衆議院提出) 第一讀會

第六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第七 民法商法修正審查委員ヲ設クルノ建議案(小畑美稻會議)

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 昨日可決ニ相成リマシタル、明治二十五年大坂砲兵工廠特別會計歲入歳出豫算追加案及豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スルノ件ハ即日內閣總理大臣ヲ經由致シテ裁可ヲ奏請致シマシタゴザイマス、次ニ昨日修正議決ニナリマシタル、明治二十五年度歳入歳出豫算追加案ハ即日衆議院ニ廻付致シマシテゴザイマス、次ニ昨日衆議院ヨリ鐵道敷設法案ヲ受領致シマシテゴザイマス、次ニ昨日衆議院ヨリ政府提出岐阜愛知二縣下震災救済及河川堤防工事費明治二十四年度豫算外支出ノ件ヲ受領致シマシテゴザイマス、次ニ昨日鐵道敷設法案ニ關シマシテ內閣總理大臣ノ通牒ヲ受領致シマシテゴザイマス、書記官長ヲシテ朗讀致サセマス、

(金子書記官長朗讀)

鐵道敷設法案

右ハ緊急ノ事件ニ付至急議定相成度此段及要求候也

明治二十五年六月六日

內閣總理大臣伯爵松方正義

貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶殿

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 次ニ伯爵酒井忠道君補關選舉當選ニ相成リマシタル旨伯爵選舉管理者伯爵東久世通禧君ノ通知ヲ受領致シマシタゴザイマス、伯爵酒井忠道君ノ席次ハ伯爵廣橋賢光君ノ次席ニナリマス、部屬ハ第四部デアリマス、次ニ本日ノ議事日程ニ移リマス、第一、震災地方租稅特別

處分法案、政府提出、第一讀會ノ續ヲ開キマス、特別委員長報告、

(子爵曾我祐準君演壇ニ登ル)

○子爵曾我祐準君 此震災地方租稅特別處分法案ハ本案ノ特別委員長廣橋伯爵ヨリ報告サルベキノデゴザリマスガ、本日ハ病氣致不參デアリマスニ依ッテ本員ガ代ッテ之ヲ報告致シマス、此案ハ緊急事件トシテ政府カラ要求ニナリマシタシ、且ツ日限モ今日マデト限ラレタコトデアリマスカラ、昨六日ノ午前ニ於キマシテ委員會ヲ開キマシタ、サウシテ審查致シマシタ、唯今報告スル所ガ夫レデアリマス、此昨年ノ十月ノ地震ト云フモノハ實ニ甚シイ劇震デアリマシテ、其損害モ又非常ナリシコトハ誰モ萬民ノ共ニ認メル所デアリマス、夫レ故ニ即チ此特別ナル法案ヲ要スルト云フ譯ニ立チ至リマシタ、本案ヲ審查シマスストキニ左ノ要點ヲ審究スルヲ以テ目的ト致シマシタデアリマス、即チ第一ハ租稅上ニ於ケル損害ハ果シテ此特別處分ヲ要スル事實アルヤ否ヤト云フコト、第二ハ損害ハ事實ナリトスルモ此損害ハ通常ノ法律ニ依ルベカラズシテ果シテ特別法ヲ要スルヤ否ヤ、是レガ第二ニナリマス、第三ハ果シテ此特別處分法案ヲ要スルトスルモ各條ノ規定ハ寬嚴其度ニ適スルヤ否ヤ、此三ツヲ目的トシテ審查致シタデアリマス、第一ノ震害ノ租稅上ニ關係ヲ及ボシタ所ハ實ニ千狀萬態種々意外ノコトデアリマス、或ハ租稅賦課ノ物件ヲ破壊シテ仕舞ヒ、或ハ物件ハ存在シテ居ッテモ其收利ヲ損シ、或ハ租稅ヲ納ムル所ノ納人ノ財産ヲ蕩盡シタナドト云フ様ナ譯デ、實ニ租稅ニ關係ヲ及ボス所ノモノハ基ダ少ナクナイコトハ明デアリマス、又第二ノ震災ノ及ボス所ノ有様ハ通常稅則ヲ以テ處分シ得ラレヌト云フコトハ基ダ明デアリマス、例ヘバ地目ノ變換ノ如キモ是レ迄ノ地租條例デハ五箇年ヲ据エ附ケテ置イテサウシテ六箇年目ニ修正ノ稅ヲ取立タルト云フコトガ規定シテアリマスカラ、今回ノ震災ノタメニ起ル地目ノ變換ト云フモノハ思想外ノコトデアリマスカラ、即チ通常ノ規則ヲ以テ參酌シキレナイ有様デアリマス、其他石ナリ砂ナリガ這入ッテ耕作ガ出來ナクナルトカ、或ハ耕作スベキ土地ガ流失スルトカ、或ハ數十筆土地ガ一面ニ陷落シテ仕舞ッタトカ、或ハ其地ハ陷落シナイデモ其前後左右ノ土地ガ陷落シタタメニ濕地ニナッタトカ、收獲高ガ減ジタ如キコトハ實ニ意想外デアアル趣デゴザリマス、即チ本案ノ第三條ノ如キハ特別處分法ヲ設ケナケレバナラヌト云フコトハ明ナコトデ委員會ニ於テモ之ヲ認メタコトデアリマス、夫レカラ又第三ノ此法案ノ適否如何、之ヲ考ヘマスルニ無論是レハ此震災ノタメニ特別ニ設ケタ所ノ法案デアリマスカラ甚ダ適當シテ居ル様ニ考ヘマス、不適當ナコトデアルト云フヲ決シテ見出シマセヌデゴザリマス、又寬嚴ノ當不當如何ト云フニ、本法ノ第三條ノ場合デハ十

箇年內ハ七割以下ノ低價年期ヲ與ヘテアリマスガ、唯ノ地租條例ノ第二十條ニ依リマスト通常荒地ノ場合ニ於テハ十五箇年與ヘテアルノヲ是レハ十箇年トシテアル即チ五箇年間縮メテアル、又本法ノ第九條ノ營業稅ノ如キモ災害ノ後チ日モマダ經タナイデ家屋ヲ設ケルコトモ出來ズ衣食ダモ給セヌト云フ如キ差支アルヲ以テ餘儀ナイ故ニ免スルト云フニ過ギヌノ決シテ寬ニ過グルト云フコトハナイ、相當ノコトト委員會デハ認メマシタ、以上ノ理由アルヲ以テ即チ本案ハ九デ衆議院ノ議決ノ通りデ宜イモノト評決シマシタ、委員會ハ一致ヲ以テ評決致シマシタ、尙ホ一言シマスルガ、此法ガ實行セラル、日ニハ減稅減免ノ總高ト云フモノハ二十四萬圓ニモナルサウデゴザイマス、夫レカラ地租延期ノ高ト云フモノハ四十五萬圓餘ニモナルサウデゴザイマシテ是レハ可ナリノ大金デゴザイマス、是レト同時ニ其地方ニ居ル人々ハ大旱ノ雲電ヲ望ムガ如ク此案ガ通過シテ際實ニ行ハレルコトヲ希望シテ居ルデアラウト思ヒマス、政府モ無論始メ申シマシタ通り急イデ居ラル、譯デアリマスカラ何卒速カニ滿堂一致ノ贊成ヲ得テ委員ノ調ベノ通り議決アラムコトヲ希望致シマス、

○村田保君 質問ヲ致シタウゴザイマス、本員ハ此法案ノ全體ニ就キマシテハ至極贊成デゴザイマスガ、此條ノ中ニ少々分リ兼テルコトガゴザイマスカラ夫レ丈ケ質問ヲ致シタウゴザイマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 逐條ノ御質問ナラバ逐條會議ノ節ニ御譲リヲ請ヒマス、

○村田保君 各條ニナリマシタ節デモ宜シウゴザイマスガ、成ルベクハ唯今質疑致シタウゴザイマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 一條毎ノ御質疑ナレバ二讀會ニ御譲リヲ請ヒマス、

○村田保君 併ナガラ次第二依ッテハ修正ヲ出スカモ知レマセスカラ豫メ夫レヲ先キニ伺ッテ置キマス方ガ修正ヲ出シマスニモ都合ガ宜シウゴザイマスカラ豫メ夫レヲ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 逐條ニ至リマシテノ質問ハ第二讀會ニ於テ許スト云フ慣例デ極メテアリマスカラ御見合セヲ願ヒマス、

○村田保君 ソンナラ左様致シマス、

○田中芳男君 特別委員長ニ聊カ御質問ヲ致シマス、唯今委シク御辯明ニナリマシタガ、此第八條ガ削ッテアリマスノハ衆議院デ削リマシタコトト考ヘマスルガ、是レニ御同意ニナリマシテ削ッテ然ルベキコトト御討議ニナッタコトト考ヘマス、其邊ノ所ハ伺ヒ洩シガアルカモ知レマセスカラ一應伺ヒマッ、本員ガ聊カ本案ニ付キマシテ意見ノアリマスノハ此地方ニ於キマシテハ

燒物ヲ燒キマス所ガ澤山アリマスカラアノ竈ナドハ損害ガ大キイ様ニ聽イテ居リマスガ、其邊ノコトノタメニ此第八條ガ置カレタト聽イテ居リマスガ、之ヲ削ラレテ差岡ナイト……定メテ此研究ガアッタデアリマセウカラ其邊ヲ伺ヒマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) チョット田中君ニ申シマスガ、此第八條ハ過日一讀會ノ時分ニ申上デマシタ通り是レハ全ク印刷ノ誤デアッテ朱字デ削レテ居ルノデアリマセヌ、全ク是レハナキモノニナッテ居ルノデアリマスカラ夫レ丈ケ御承知ヲ請ヒマス、

○子爵曾我祐準君 是レハ白紙デ、夫レデ委員會デハ議シハ議シマシタガ夫レハ報告致シマセヌ……ナイモノデスカラ……

(渡邊甚吉君演壇ニ登ル)

○渡邊甚吉君 諸公、震災地方ノ慘酷ナル形狀ハ已ニ昨年十二月二十五日ニ於キマシテ本員ガ建議案ヲ提出シマシタルトキニ諸公ハ對シテ陳述ヲシテ置キマシタカラ今更之ヲ繰返スコトハ致シマセヌガ、此被害地ノ租稅ヲ處分スルコトニ附キマシテハ到底現今ノ通常法律ヲ以テ當テ嵌メルコトハ出來マセヌ、其事情ト云フモノハ唯今特別委員長ヨリシテ陳述ニナリマシタコトデ盡シテ居リマス、依ッテ賢明ナル諸公ノ御贊成ヲ得マシテ、速ニ此案ノ通過致サムコトヲ希望致シマス、因ニ先刻田中男爵デゴザイマシタカ此朱書ヲ消シテゴザイマス八條ノコトニ付テ御質問ガゴザイマシタガ、成程是レハ全ク衆議院ヨリ廻ッテ來タ時分ニナクナッテ居リマスカラ是レハナイノデゴザイマスガ、此八條ハ中ニ肝要ナ箇條デゴザイマシテ委員會ニ於キマシテモ色々協議ヲ致シマシタ際ニドウカ成ルベクナラバ是レハ最初政府提出ノ如クニ復シタイト思ヒマス、其譯ハ世ニ今般ノ地震ヲ評シマシテ瓢箪地震ト云フ如ク中央ノ部分ガ最モ慘狀ヲ極メテ居ルノデゴザイマシテ丁度所得稅ノ三百圓或ハ四百圓ト云フ所得高ノアル位ノ者ガ一番氣ノ毒デアアルノデゴザイマス、夫レデ丁度所得稅ヲ納メル者ト申シマスルト、文字上ニ付テ見マスルト殆ド富裕ノ者ノ如クニ見エマスケレドモ、實際ニ就テ見マスルト三百五十圓或ハ四百圓位ノ所得ノアル者デ店ニ少々ノ代物ヲ列ベテ商ヲ致シテ居ル様ナ者ガ今般ノ地震デ家屋モ燒ケ家内モ地震デ壓死ヲ致シタト云フ様ナ場合、平常ニ力役ヲシテ居リマセヌカラ堤普請ガアリマシテモ夫レニ參ル譯ニハイキマセヌ、夫レカト云ッテ資本ハ既ニナクシテ居マスカラ最早商業ヲ營ムコトモ出來ヌ、實ニ是レ等ハ如何トモ致方ノナイモノデゴザイマス、之ニ對シテ最初衆議院ヘ政府カラ提出ニナリマシタ案ノ如クニ所得稅ノ減免ヲ致シテヤルコトハ甚ダ必要デアルト云フコトハ委員會ニ於キマシテモ餘程協議ヲ致シマシタガ、併ナガラ之ヲ一條設ケルタメニ衆議院ト協議會ヲ開イタリ彼レ是レ致

シテ居リマス時日ノ費エルノミナラズ萬一是レガ成立タスト云フコトニナ
ッテハ却ッテ一ヲ得ルタメニ十ヲ失フ譯デアルカラ寧ロ第八條ハ設ケタイコト
デアアルガ忍ンデ衆議院ノ案ノ通りニシタラ宜カラウト云フ趣意ヲ以テ少シモ
修正ヲ加ヘズシテ衆議院ノ案ノ如ク可決シタノデアリマス、滿場ノ諸君ニ於
テモ矢張り衆議院ヨリ廻付ニナリマシタ案ノ如ク速ニ御贊成アラムコトヲ希
望シマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 他ニ御發言モゴザリマセヌデセウカ……他ニ
御發言ガナイト存ジマスルニ依ッテ本院規則ノ九十五條ニ依リマシテ討論ノ
終局ヲ宣告致シマス、即チ討論終局ニナリマシタ以上ハ第二讀會ヲ開クベキ
ヤ否ヤノ決ヲ採リマセウト存ジマス、本案第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ
起立ヲ請ヒマス、

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君)

過半数デゴザリマス、

○藤村紫朗君 本案ニ付キマシテハ緊急事件トシテ嘗テ政府ヨリ通牒ノ趣
モゴザイマスルシ、又日限ヲ限ッテ特別委員ニ審査ノ付託ヲサレタルコトデ
モアリマスルシ會期モ餘程日限ガ切迫ヲ致シテ居リマスカラ、貴族院規則ノ
六十九條ニ依リマシテ引續イテ第二會讀ヲ開カレムコトヲ希望致シマス、

○子爵曾我祐準君 全ク藤村君ノ申サレタ通り本員等モ同意致シマス、

○渡邊甚吉君

贊成致シマス、

○瀧口吉良君

贊成、

○男爵堀取素彦君

贊成、

○櫻井伊兵衛君

贊成、

○子爵伊集院兼寛君

贊成、

○子爵五條爲榮君

贊成、

○男爵金子有卿君

贊成、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君)

規則ニ依リマシテ藤村君ヨリ第二讀會ヲ直ニ
開クベシト云フ動議ガ出テ居リマス、即チ議事日程ノ變更ニ相成リマスルノ
デゴザリマス、議事日程ヲ變更致シテ直ニ第二讀會ヲ開クベキヤ否ヤノ決ヲ
採リマス、議事日程ヲ變更シテ直ニ第二讀會ヲ開クベシトスル藤村君ノ動議
ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君)

過半数デゴザリマス、依ッテ直ニ第二讀會ヲ

開キマス、逐條朗讀ヲ致サセマス、

〔本内書記官朗讀〕

震災地方租稅特別處分法

第一條 本法ハ三重縣愛知縣滋賀縣岐阜縣及福井縣ニ限リ明治二十四年十
月二十八日ノ震災ニ因リテ生シタル損害ニ適用ス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 第一條、原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマ
ス、

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君)

過半数デゴザリマス、第二條、

○男爵本多副元君

規則ニ依リマシテ便宜二三箇條ヅ、御朗讀ニナラムコ
トヲ……

〔本内書記官朗讀〕

第二條 水源濁渾水路破滅等ノ爲メ地目ヲ變換シ地價ヲ修正シタル土地ハ
明治二十四年分ヨリ修正地價ニ依リ地租ヲ徵收ス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君)

第二條、原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマ
ス、

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君)

過半数デゴザリマス、

〔本内書記官朗讀〕

第三條 荒地ニ至ラサルモ土地ニ變動ヲ生シタル爲メ又ハ其餘害ヲ受ケタ
ル爲メ收利ノ減損甚シキ土地ハ其實況ニ依リ明治二十四年ヨリ十年以內
七割以下ノ低價年額ヲ附與スルコトヲ得

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君)

第三條、原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマ
ス、

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君)

過半数デゴザリマス、

〔本内書記官朗讀〕

第四條 過半ノ家屋焼失若クハ壊倒シ營業ノ景狀容易ニ回復シ難キ市街若
クハ市街ニ準スヘキ部落ハ其實況ニ依リ明治二十四年ヨリ七年以內七割
以下ノ低價年額ヲ其地ノ宅地ニ附與スルコトヲ得

○村田保君

本條ニ付キマシテ聊カ質問ヲ致シタイコトガゴザイマス、過
半ノ家屋焼失云々トゴザイマス、過半ノ家屋トゴザイマスルコト云フト此倉庫
ト云フモノガ抜ケテ居ル、然ルニ倉庫ト云フモノハ餘程營業上ニ或ハ必要ノ
アル場合ガ澤山アルダラウト存シマス、現ニ渡邊甚吉君ノ家屋ハ十幾ツカ焼
失サレタト云フコトヲ承ッテ居リマス、家屋ハ焼失ノ場合デ減稅ヲ得ラレマ
スルガ倉庫ガ澤山アッテ倉庫ガ皆潰レルトカ焼ケルトカシテモ此方ハ減稅ヲ
得ラレスト云フコトニナリマスルト甚ダ不公平デハナイカト云フ私ハ考ヲ持

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君)

過半数デゴザリマス、

〔本内書記官朗讀〕

第四條 過半ノ家屋焼失若クハ壊倒シ營業ノ景狀容易ニ回復シ難キ市街若
クハ市街ニ準スヘキ部落ハ其實況ニ依リ明治二十四年ヨリ七年以內七割
以下ノ低價年額ヲ其地ノ宅地ニ附與スルコトヲ得

○村田保君

本條ニ付キマシテ聊カ質問ヲ致シタイコトガゴザイマス、過
半ノ家屋焼失云々トゴザイマス、過半ノ家屋トゴザイマスルコト云フト此倉庫
ト云フモノガ抜ケテ居ル、然ルニ倉庫ト云フモノハ餘程營業上ニ或ハ必要ノ
アル場合ガ澤山アルダラウト存シマス、現ニ渡邊甚吉君ノ家屋ハ十幾ツカ焼
失サレタト云フコトヲ承ッテ居リマス、家屋ハ焼失ノ場合デ減稅ヲ得ラレマ
スルガ倉庫ガ澤山アッテ倉庫ガ皆潰レルトカ焼ケルトカシテモ此方ハ減稅ヲ
得ラレスト云フコトニナリマスルト甚ダ不公平デハナイカト云フ私ハ考ヲ持

ッテ居リマス、夫レ故家屋バカリデ倉庫ガ這入ッテ居ラスノハドウ云フ趣意デゴザイマス、夫レ丈ケテ政府委員デモ委員長ニデモドナタニデモ御説明ヲ願ヒタイ、

○政府委員(渡邊國武君) 此第四條ノ「過半ノ家屋焼失若クハ壊倒シ營業ノ景狀容易ニ回復シ難キ市街」ト申シマスルノハ素ト此市街宅地ノ地價即チ租稅ヲ賦スル目的ニナッテ居リマスル地價ト申シマスモノハ其營業ノ盛衰ヲ見込デ是レハ地租改正ノ際ニ立テタモノデアリマスカラ、例ヘバ大垣市ナラ大垣市ト云フ全市ガアツテ其間ニ營業ガ繁昌シ隨ッテ店モ繁昌シテ賣買ガ盛ニナルト云フ所カラシテ此宅地ノ地價ヲ算出シタモノデアリマスカラ、若シ夫レガ過半以上モ燒ケルト云フト此市街ガ立タヌ様ニナッテ一向營業ガ繁昌シナイ、サウスルト土地ノ價ト云フモノハ其家屋ガ立チ列チテ舊形ニ復スルマデハ素ト地租改正ノ時ニ調ベタ直打ガナイト云フ斯ウ云フコトニナリマスカラ過半ノ家屋焼失スルト云フコトハ全市街ヲ看並ベタ上ノ所デ申シマスコトデ、モウ其倉庫ト云フ字ガアリマセデモ全市街ノ過半ノ家ガ焼失致シマスレバ此全市街ノ繁昌ガ缺ケテ販賣ノ道モ少ナクナリマスカラ、必シモ倉庫ト云フ詳シイコトヲ申シマセデモ大垣市ノ如ク過半燒ケテ見レバ何モ賣レモシナイ、店モ出來ナイ、サウスルト幾ラカ地價ヲ減ゼナケレバナラスト云フ關係ガ起ッテ來ルノデアリマス、夫レハ此家ガ燒ケタ、倉庫ノ燒ケタ所モアリマセウガ先ヅ全市街ノ景況カラ見テ地租ヲ減免スル目安ヲ立テルノニハ家ト云フモノガ過半以上燒ケタト云フ目安デ澤山デアルト云フ斯ウ云フコトニ過ギマセス、

○村田保君 宜シウゴザリマス、能ク分リマシタ、

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君)

過半數デゴザイマス、

〔木内書記官朗讀〕

第五條 第三條第四條ノ低價年期限ニ至リ原地價ニ復シ難キモノハ其地ノ

現況ニ依リ地價ヲ修正スルコトヲ得

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君)

第五條、原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君)

過半數デゴザイマス、

〔木内書記官朗讀〕

第六條 地租條例第二十條又ハ本法第二條第三條ノ處分ヲ爲シタル土地ニ

係ル地租延納年賦金ハ之ヲ免除ス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君)

第六條、原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君)

過半數デゴザイマス、

〔木内書記官朗讀〕

第七條 居住家屋ノ燒失又ハ其他ノ損害ヲ受タル者ハ被害ノ景況ニ依リ明治二十四年分地租未納金ハ明治二十五年ヨリ三年以内延納ヲ許スコトヲ得

○村田保君

唯今本員ガ質問ヲ致シタル所ハ丁度此七條ノ所ニ尙ホ當リマス存ジマスガ此本條ニ於キマシテ居住ノ家屋ガ燒失ヲシタルトキニハ延納ヲ許スト云フコトガアリマスルケレドモ此今伺ヒマシタ倉庫ナドノ澤山ゴザリマスルモノガ倉庫ノ方ニ於キマシテ澤山ノ損害ヲ受ケマシタトキニハ許サレスト云フコトニナリマスルガ此所ニ倉庫ト云フコトガ這入ッテ居リマセヌ様ニ見エマスガドウ云フ趣意デ這入ッテ居リマセヌカ、ソコヲモウ一應伺ヒタイ、

○政府委員(渡邊國武君)

此第七條ハ土地ニ直ニ關係ガアリマセデモ所謂衣食住ノ一ナル居住ヲ失タリ、或ハ其他ノ損害ト申シマスルモノハ即チ家ニアル家財總テニ損害ヲ受ケテ難儀ヲシテ居ル者ニ向ッテ未納金ヲ強徴處分マデシテ取り立テルコトハドウモ出來能ハザルコトデアリマスルカラ、是レハ直ニ土地ノ損害ガアリマセヌカラ免ズルコトハ出來ナイ未納金デアリマスカラ唯是レハ三年猶豫シテ漸ク以テ納メヨイ様ニ納メサセルト云フ様ニ致シタノデゴザリマス、今倉庫ノコトモ御話ガアリマシタガ居住ノ家屋ガ燒ケタリ又ハ其他ノ損害ヲ受ケテ矢張り家ノ内ノ物が皆無クナッテ仕舞ッタ、倉ガ燒ケタト云フコトモ其他ノ損害ト云フモノデ甚シキモノガアリマシタナラバ其被害ノ景況ニ依リ云々トアリマススカラ景況ヲ酌量シテ……何分斯ウ云フ害ヲ受ケテ居ル者ニ向ッテ未納金ヲ急ニ取立テテ未納處分ニ及ブト云フコトガ出來マセスト云フ見据ヲ立テマシタ時分ニ矢張り此七條ヲ應用シテ行クコトガ出來マセウト存ジマス、差支ハナイ見込デアリマス、

○村田保君 唯今政府委員ノ説明ヲ承ッテ見マスルト云フト居住ノ家屋ノ燒失其他ノ損害……其他ト云フ中ニ倉庫ト云フ様ナモノガ這入ッテ居ルカラ其他ト云フコトデ含マレテ居ルト云フ様ナ御説明ノ様ニ承リマシタガ、其他ト云フ所ノ解釋ハ本員ト全ク違ッテ居リマス、本員ノ考ヘル所デハ其他ノ損害ト云フノハ燒失又ハ其他ノ損害デゴザリマススカラ燒ケタトカ或ハ地震デ潰レタトカ水デ損ジタトカ云フコトデ燒失ニ對スル其他ノ損害カト存ジマス、

若シ政府委員ノ説デゴザリマスレバ家屋其他ト言ハナケレバナリマセヌ、然ルニ其他ト云フコトハ燒失カラ出テ居リマスカラドウモ少シク唯今ノ説明ハ當ラヌカト存ジマス尙ホ説明ヲ……

○政府委員(渡邊國武君) 此立案ノ趣意ハ此「又ハ其他ノ損害」ト申シマスルモノハ「燒失」ノミニ關ラズシテ「居住家屋ノ燒失」ト一聲ニ讀ミマシテ之ニ對シテ「又ハ其他ノ損害」ト云フ意味デ立案致シタモノデゴザリマスカラ前ノ通りニ御答ヲ致シタノデアリマス、

○村田保君 本員ニハ何分ニモサウハ讀メマセヌデゴザリマスガ滿場諸君ガサウ御讀ミニナレバ兎モアレ「其他ノ損害」トアレバ「燒失其他」デ即チ燒失ノ損害トカ夫レカラ地震デ潰レタトカ水デ損ジタトカ云フサウ云フ損害ヲ指シタコトカト存ジマス、若シ御説明ノ通り此中ヘ倉庫マデモ入レルト云フコトデゴザリマスルナラバ居住家屋又ハ倉庫ノ燒失若クハ其他ノ損害ト云フコトニナリマセヌデハ明瞭ニナリマスイト存ジマス、居住家屋又ハ倉庫其他ノ燒失若クハ其他ノ損害ト云フコトニナラナクツチャナルマイト存ジマス、尙ホ一ツ念ノタメ……

○政府委員(渡邊國武君) 是レハドウモ讀方デサウ御解シニナルコトモ已ムコトヲ得マセヌガ「燒失又ハ其他ノ損害」ト云フコトニナリマスレバ村田君ノ御説ノ様ニナリマセウガ「居住家屋ノ燒失」ト讀ミマシテ夫レカラ「又ハ其他ノ損害」ト云フコトニナリマスレバモウ唯今辯明致シタ通りデ聞エマセヌトモ存ジマセヌ、若シ之ヲ修正ニナルト云フ御發議デゴザイマスレバ別段ノコトデゴザイマスルガ、本官ニ於テハ前ニ説明致シタ通りデ差支モナシ決シテ修正セラル、ノ必要ヲ見マセヌト存ジマス、

○子爵曾我祐準君 政府委員ガ御辯ジニナリマシタカラ夫レデ十分デゴザリマスルガ、此事ニ付テ委員會デ昨日推問致シマシタニハ「此本條ハ賦課物品其物ニハ損害ナキモ被害者一般ノ損害ヲ見込ミ處分スルモノトス、其他ノ損害云々トハ例ヘバ收穫米ヲ腐敗セシモノ等ヲ云フ而シテ本條ハ備荒貯蓄法ニ依リ延納シ得ベキモノヲモ本條ニ依リ處分シ得ル見込ナリ是レ備荒貯蓄元資金ヲ減少スルノ虞アレバナリ」斯ク昨日ハ政府委員カラ説明ヲ得テ我々ハ是レデ此案ヲ賛成致シマスノデゴザリマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 第七條ノ決ヲ採リマス、原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 過半数デゴザイマス、

第八條 酒造又ハ醬油營業者ニシテ營業用ノ建物燒失壞倒若クハ大破シタ

ル者ハ其實況ニ依リ震災前檢査濟ニ係ル未納造石稅ヲ減免スルコトヲ得

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 第八條、原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 過半数デゴザイマス、

第九條 醬油菓子賣藥烟草度量衡ノ營業者ニシテ營業用建物燒失壞倒若クハ大破シタルモノハ其實況ニ依リ左ニ掲クル税金ニ限り減免スルコトヲ得

一 菓子製造稅度量衡稅ハ明治二十四年後半年分ノ税金

一 醬油營業稅菓子營業稅賣藥營業稅烟草營業稅ハ明治二十五年前半年分ノ税金

○子爵松平信正君 政府委員ナリ又ハ特別委員ナリニテヨツト質問ヲ致シタウデゴザリマスガ、本條ニ此税金ノ減免セラル、所ノ稅目ヲ此醬油菓子賣藥烟草度量衡ノ五種ニ限ラレテ此他ニハ減免ノ恩澤ヲ及ボサスト云フノハドウ云フ理由デアリマスルカ、例ヘバ車稅ノ如キ船稅ノ如キモ均シク減免ニナツテ然ルベキカトモ本員ハ考ヘマスルノデゴザリマス、併シ是レハ此五種ノ稅目ニ限り特ニ減免ヲシナケレバナラスト云フ所ノ何カ理由ガアルナラ一應説明ヲ煩シタウデゴザリマス、

○政府委員(渡邊國武君) 此第九條ニ書イテアリマスル通り營業用建物燒失壞倒若クハ大破シタルモノハ其實況ニ依リ此税金ヲ免ズルト云フノデ、營業用建物ト申シマスルト醬油菓子賣藥煙草ナドガ所謂營業用ノ建物ノ有ルベキモノデ、船車ノ如キハ營業用ノ建物モナシ是レハ船車其物が毀レテ仕舞ヒマスレバモウ夫レデ免稅ニナリマスカラ之ニ加ヘズトモ宜イノデアリマス、唯此中ニ酒ノ營業稅ト云フモノガ除ケテアリマス、夫レハナゼ除ケタカト申シマスルト酒ノ營業稅ハ十月一日ニモウ納メニナツテ仕舞ッテ居ル、マ一前納ノモノデアリマス、夫レデタツタ二十八日ノ違ヒデアリマススケレドモ既ニ納濟ミニナツタ酒ノ稅ヲ震災ノタメニ返シテヤルト云フコトハ必要ガナイト認メマシテ酒ノ營業稅丈ケハモウ前納デ納メ濟ミニナツタガタメニ之ニ漏レテ居ルノデゴザリマス、

○村田保君 本員モ茲ニ少シク質問ヲ致シタイコトガアル、建物デナケレバ這入ラスト云フ様ナ御趣意デゴザリマスルガ、此醬麴ト云フモノハ如何デゴザリマスカ、醬麴ト云フモノハ一年ニ五十圓モ營業稅ヲ出シテ居リマシテ酒或ハ醬油ナドヲ造ルニハ此醬麴ガ本ニナツテ居リマス、總テ此酒或ハ醬油ノ營業稅ハ僅カ五圓ノモノモゴザイマスガ醬麴營業稅ハ五十圓取リマス、其

營藥ノ營業稅ヲ爰ニ除ケテゴザイマスルト云フモノハ如何ノ譯デゴザイマス
カ、之ヲ一ツ承リタイノデス、今一ツハ賣藥營業稅、此賣藥營業稅ト云フモノ
ノハドウ云フモノデゴザイマセウカ、其法文ヲ本員ガチヨット讀ミマスル所
デハ賣藥營業稅ハ見當リマセス、成程醬油營業稅トカ菓子營業稅トカ烟草營
業稅トカ云フコトハゴザイマスルケレドモ、賣藥ハ賣藥印紙稅ト云フ規則ガ
出テ居リマス、賣藥印紙稅ト云フモノハ例ヘバ一錢マデハ一厘二錢マデハ二
厘貼ルトカ云フ印紙ヲ貼用スル丈ケノ稅ダト思ヒマス、夫レデ賣藥營業稅ヲ
ドノ位出シタト云フコトハドウモ本員ニハ見當リマセヌガドノ邊カラ出マシ
タカ、其二箇條ノ質問ヲ致シマス、

○政府委員(渡邊地國君) 唯今調べテ御答ヲ致シマス、……村田君ニ御答
ヲ致シマス、營藥營業稅ハ成程御説ノ通りデアリマスルガ、此租稅特別處分
法ヲ應用スベキ地方ニハナイノデアリマス、故ニ此法律ニハ必要ガナイ、又
賣藥營業稅ノコトヲ御尋デアリマシタガ、賣藥規則第十六條ニハ

左ノ通賣藥營業者稅金並鑑札料ヲ上納スヘシ

賣藥營業稅 藥劑一方ニ付一箇年 金貳圓

右鑑札料 藥劑一方ニ付一枚 金貳拾錢

斯様ニナツテ居リマスカラ賣藥印紙稅ノ外ニ營業稅ガアリマス、

○村田保君 夫レハ何年ノ案デゴザイマスカ、布告デゴザイマスカ或ハ省
令デゴザイマスカ、

○政府委員(渡邊地國君) 明治十年一月二十日ノ布告第七號デアリマシテ
夫レ第十六條ハ十五年第二十六號布告ヲ以テ改正シタノデアリマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 他ニ御發言ガゴザイマセテバ決ヲ採ラウト存
ジマス第九條、原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 過半数デゴザイマス、

(木内書記官朗讀)

第十條 本法ニ依リ損害取調中ハ其租稅ノ徵收ヲ猶豫ス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 第十條、原案ヲ可トスル諸君ハ起立ヲ請ヒマ
ス、

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 過半数デゴザイマス、

(木内書記官朗讀)

第十一條 本法ノ施行ニ關シテハ訴願又ハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得ス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 第十一條、原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請
ヒマス、

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 過半数デゴザイマス、

第十二條 本法ニ依リ處分ヲ受ケントスルモノハ明治二十五年八月三十一
日迄ニ申出ヘシ若シ此期限内ニ申出サルモノハ本法ノ處分ヲ受クルコト
ヲ得ス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 第十二條、原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒ
マス、

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 過半数デゴザイマス、依ッテ第二讀會ハ是レ
ニテ可決セラレマシテゴザイマス、

○子爵曾我祐準君 理由ハ此第二讀會ニ直ニ移ッタト同様ノ理由デ第三讀
會ヲ直ニ引續イテ開カレムコトヲ希望致シマス、

○瀧口吉良君 贊成致シマス、

○男爵樺取素彦君 贊成、

○渡邊甚吉君 贊成致シマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 曾我子爵ヨリ第三讀會ヲ直ニ開クト云フ動議
ガ出テ居リマス、即チ議事日程ヲ變更シテ直ニ開クト云フコトニナリマス、
此決ヲ採リマス、曾我子爵ノ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 過半数デゴザイマス、依ッテ議事日程ヲ變更
ニナリマシテ直ニ第三讀會ヲ開キマス、是レハ朗讀ヲ省略致シマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 別段御發言モゴザイマセヌニ依ッテ決ヲ採リ
マス、原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請マヒス、

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 過半数デゴザイマス、依ッテ本案ハ可決セラ
レマシテゴザイマス、最早正午ニ近ヅキマシタニ依ッテ一應休憩ヲ致シマ
ス、

午前十一時五十四分休憩

午後一時二十分開議

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 本日岐阜愛知二縣下震災救濟及河川堤防工事
費明治二十四年度豫算外支出ノ件ニ關シマシテ内閣總理大臣ノ通牒ヲ受領致
シマシテゴザイマス、書記官長ヲシテ朗讀致サセマス、

(金子書記官朗讀)

岐阜愛知二縣下震災救済及河川堤防工事費明治二十四年度豫算外支出ノ件
ハ緊急事件トシテ議定相成度此段及請求候也

明治二十五年六月七日 內閣總理大臣伯爵松方正義

貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶殿

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 次ニ今朝可決シマシタル政府提出、衆議院送

付、震災地方租稅特別處分法案ハ內閣總理大臣ヲ經由致シマシテ裁可ヲ奏請

ニ及ビマシタ、及可決ノ旨ヲ衆議院ニ通牒致シマシテゴザイマス、次ニ直ニ

議事日程第二ニ移ルベキデゴザイマスガ、今朝鐵道敷設法案ヲ緊急事件トシ

テ議決ニナリタイト云フ 內閣總理大臣ノ請求ガゴザリマシタニ依ッテ議事日

程ヲ變更致シマシテ唯今直ニ鐵道敷設法案ノ第一讀會ト右議案ノ審査ヲ付託

スベキ特別委員ノ選舉丈ケヲ初ニ執リ行ハウト存ジマス、議事日程變更ノコ

トデゴザリマスニ依ッテ滿場ニ諮ヒマス、

○三浦安君 鐵道敷設法案ハ緊急トハ申シナガラ今朝御頒布ニナリマシテ

ス落手致シマシタケテ少シモ讀ム間モ見ル間モゴザイマセヌカラ是レハ少

ハ御斟酌ニナルコトヲ……

○子爵鍋島直彬君 本員モ三浦君ト全ク同感デゴザイマス、今暫ク御見合

セヲ……

○山川浩君 三浦君ニ賛成、

○男爵伊達宗敦君 三浦君ニ同意デアリマス、

○子爵谷干城君 三浦君ニ同意デアリマス、

○子爵松平承承君 三浦君ニ同意、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 是レハ唯今本席ノ見込ヲ申述ベマシタ所ガ御

不同意ノ御方モゴザリスルガ成程未ダ十分ニ御熟覽ノ暇モナイト云フヲ以

テ唯今直ニ議事日程ヲ變更シテハ宜シクナイト云フ御意見ハ御尤デゴザン

スルガ、併シ是レハ第一讀會デ委員ニ付託致ス手續ヲ致スニ止マルモノデアリ

マスカラ、本席ニ於テハ夫レ丈ケノコトヲ執行フニ差支ナイト存ジマシテ議

事日程ノ變更ヲ申述ベタ譯デアリマス、依ッテ衆決ニ諮ヒマス、議事日程ヲ

變更シテ直ニ鐵道敷設法案ノ第一讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマ

ス、

起立者

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 過半数デゴザイマス、

〔此時「少數」ト呼ブ者アリ「多數」ト呼ブ者アリ〕

○子爵五條爲榮君 唯今ノハ少數ト存ジマスカラ氏名點呼ヲ請求致シマ

ス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 然ラバ氏名點呼ヲ行ヒマス、

〔氏名點呼ヲ行フ〕

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 氏名點呼ノ結果ヲ御報告ニ及ビマス、總出席

議員百六十八、可トスル議員八十六、否トスル議員八十二可ト決シマスル、

依ッテ議事日程變更ニ相成リマシタ、鐵道敷設法案第一讀會ヲ開キマスル、條

數ガゴザイマスニ依ッテ通牒文ノミヲ朗讀致サセマス、

〔木內書記官朗讀〕

一鐵道敷設法案

右政府提出鐵道公債法案本院ニ於テ修正ヲ加ヘ議決セリ依テ議院法第五十

四條ニ依リ及送付候也

明治二十五年六月六日

衆議院書記官長 水野 遵

衆議院議長 星 亨

貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶殿

〔左案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ此ニ載録ス〕

鐵道敷設法

第一章 總則

第一條 政府ハ帝國ニ必要ナル鐵道ヲ完成スル爲メ漸次豫定ノ線路ヲ調査

シ及敷設ス

第二條 豫定鐵道線路ハ左ノ如シ

中央線

一 神奈川縣下八王子若クハ静岡縣下御殿場ヨリ山梨縣下甲府及長野縣下

諏訪ヲ經テ伊那郡若クハ西筑摩郡ヨリ愛知縣下名古屋ニ至ル鐵道

一 長野縣下長野若クハ篠ノ井ヨリ松本ヲ經テ前項ノ線路ニ接續スル鐵道

一 山梨縣下甲府ヨリ静岡縣下岩淵ニ至ル鐵道

中央線及北陸線ノ連絡線

一 岐阜縣下岐阜若クハ長野縣下松本ヨリ岐阜縣下高山ヲ經テ富山縣下富

山ニ至ル鐵道

北陸線

一 福井縣下敦賀ヨリ石川縣下金澤ヲ經テ富山縣下富山ニ至ル鐵道及本線

ヨリ分岐シテ石川縣下七尾ニ至ル鐵道

北陸線及北越線ノ連絡線

一 富山縣下富山ヨリ新潟縣下直江津ニ至ル鐵道

北越線

一新潟縣下直江津又ハ群馬縣下前橋若クハ長野縣下長野ヨリ新潟縣下新

瀧及新發田ニ至ル鐵道

北越線及奥羽線ノ連絡線

一新潟縣下新發田ヨリ山形縣下米澤ニ至ル鐵道若クハ新潟縣下新津ヨリ
福島縣下若松ヲ經テ白河、本宮近傍ニ至ル鐵道

奥羽線

一福島縣下福島近傍ヨリ山形縣下米澤及山形、秋田縣下秋田青森縣下弘
前ヲ經テ青森ニ至ル鐵道及本線ヨリ分岐シテ山形縣下酒田ニ至ル鐵道
一宮城縣下仙臺ヨリ山形縣下天童若クハ宮城縣下石ノ巻ヨリ小午田ヲ經
テ山形縣下船形町ニ至ル鐵道

一岩手縣下黑澤尻若クハ花巻ヨリ秋田縣下横手ニ至ル鐵道
一岩手縣下盛岡ヨリ宮古若クハ山田ニ至ル鐵道

總武線及常盤線

一東京府下上野ヨリ千葉縣下千葉、佐倉ヲ經テ銚子ニ至ル鐵道及本線ヨ
リ分岐シテ木更津ニ至ル鐵道

一茨城縣下水戸ヨリ福島縣下平ヲ經テ宮城縣下岩沼ニ至ル鐵道

近畿線

一奈良縣下奈良ヨリ三重縣下上栢植ニ至ル鐵道
一大阪府下大阪若クハ奈良縣下八木又ハ高田ヨリ五條ヲ經テ和歌山縣下
和歌山ニ至ル鐵道

一京都府下京都ヨリ奈良縣下奈良ニ至ル鐵道
一京都府下京都ヨリ舞鶴ニ至ル鐵道

山陽線

一廣島縣下三原ヨリ山口縣下赤間關ニ至ル鐵道
一廣島縣下海田市ヨリ吳ニ至ル鐵道

山陰線

一京都府下舞鶴ヨリ兵庫縣下豊岡、鳥取縣下鳥取島根縣下松江、濱田ヲ
經テ山口縣下山口近傍ニ至ル鐵道

山陰及山陽連絡線

一兵庫縣下姫路ヨリ生野若クハ笹山ヲ經テ京都府下舞鶴又ハ園部ニ至ル
鐵道若クハ兵庫縣下土山ヨリ京都府下福知山ヲ經テ舞鶴ニ至ル鐵道
一兵庫縣下姫路近傍ヨリ鳥取縣下鳥取ニ至ル鐵道又ハ岡山縣下岡山ヨリ
津山ヲ經テ鳥取縣下米子及境ニ至ル鐵道若クハ岡山縣下倉敷又ハ玉島
ヨリ鳥取縣下境ニ至ル鐵道

一廣島縣下廣島ヨリ島根縣下濱田ニ至ル鐵道

四國線

一香川縣下琴平ヨリ高知縣下高知ヲ經テ須崎ニ至ル鐵道

一德島縣下德島ヨリ前項ノ線路ニ接續スル鐵道

一香川縣下多度津ヨリ愛媛縣下今治ヲ經テ松山ニ至ル鐵道

九州線

一佐賀縣下佐賀ヨリ長崎縣下佐世保及長崎ニ至ル鐵道

一熊本縣下熊本ヨリ三角ニ至ル鐵道及宇土ヨリ分岐シ八代ヲ經テ鹿兒島
縣下鹿兒島ニ至ル鐵道

一熊本縣下熊本ヨリ大分縣下大分ニ至ル鐵道

一福岡縣下小倉ヨリ大分縣下大分、宮崎縣下宮崎ヲ經テ鹿兒島縣下鹿兒
島ニ至ル鐵道

一福岡縣下飯塚ヨリ原田ニ至ル鐵道

一福岡縣下久留米ヨリ山鹿ヲ經テ熊本縣下熊本ニ至ル鐵道

以上ノ線路ニ變更増減ヲ要スルモノアルトキハ帝國議會ノ協贊ヲ經テ之
ヲ決定スヘシ

第三條 鐵道工事ハ緩急ニ應ジテ其期限ヲ數期ニ區分シ每期ノ工事ヲ繼續
事業トス

第四條 鐵道事業ニ要スル費用ハ公債ヲ募集シテ之ニ充ツ

第五條 鐵道公債ノ利子ハ一箇年百分ノ五以下トス

第六條 鐵道公債ニ關シ本法ニ規定ナキモノハ總テ明治十九年勅令第六十
六號整理公債條例ニ據ル

第二章 第一期鐵道及公債募集

第七條 豫定線路中左ノ線路ハ第一期間ニ於テ其實測及敷設ニ著手ス

一中央豫定線ノ内神奈川縣下八王子若クハ靜岡縣下御殿場ヨリ山梨縣下
甲府及長野縣下諏訪ヲ經テ伊那郡若クハ西筑摩郡ヨリ愛知縣下名古屋
ニ至ル鐵道

一北陸豫定線ノ内福井縣下敦賀ヨリ石川縣下金澤ヲ經テ富山縣下富山ニ
至ル鐵道

一北越豫定線ノ内新潟縣下直江津又ハ群馬縣下前橋若クハ長野縣下豐野
ヨリ新潟縣下新潟及新發田ニ至ル鐵道

一奥羽豫定線ノ内福島縣下福島近傍ヨリ山形縣下米澤及山形、秋田縣下
秋田青森縣下弘前ヲ經テ青森ニ至ル鐵道

一山陽豫定線ノ内廣島縣下三原ヨリ山口縣下赤間關ニ至ル鐵道及廣島縣
下海田市ヨリ吳ニ至ル鐵道

一九州豫定線ノ内佐賀縣下佐賀ヨリ長崎縣下長崎及佐世保ニ至ル鐵道及
熊本縣下熊本ヨリ三角ニ至ル鐵道

一近畿豫定線ノ内京都府下京都ヨリ舞鶴ニ至ル鐵道若クハ兵庫縣下土山ヨリ京都府下福知山ヲ經テ舞鶴ニ至ル鐵道

一近畿線ノ内大阪府下大阪若クハ奈良縣下高田若クハ八木ヨリ五條ヲ經テ和歌山縣下和歌山ニ至ル鐵道

一山陰山陽聯絡豫定線ノ内兵庫縣下姫路近傍ヨリ鳥取縣下鳥取ヲ經テ境ニ至ル鐵道又ハ岡山縣下岡山ヨリ津山ヲ經テ鳥取縣下境ニ至ル鐵道若クハ岡山縣下倉敷ヨリ鳥取縣下境ニ至ル鐵道

以上線路ノ外ニ尙ホ敷設ノ急ヲ要スヘシト認ムルモノアルトキハ帝國議會ノ協贊ヲ經テ更ニ第一期工事トシ特ニ公債ヲ募集スルコトヲ得

比較線路ハ政府ニ於テ更ニ調査ヲ遂ケ帝國議會ノ協贊ヲ經テ之ヲ決定スヘシ

第八條 第一期鐵道工事ハ起工ノ年ヨリ向フ十二箇年ヲ以テ成效期限トス

第九條 第一期鐵道敷設ノ費用ニ充ツル爲メ金六千萬圓ヲ限リ明治二十五年年度ヨリ十二箇年間ニ漸次公債ヲ募集スヘシ

第十條 政府ハ第二期ニ敷設スヘキ鐵道線路ヲ實測シ每線路ノ工費豫算ヲ定メ帝國議會ノ協贊ヲ求ムヘシ

第三章 私設鐵道ノ處分

第十一條 既成私設鐵道ニシテ第二條ニ依リ敷設スヘキ線路ノ爲メ買收ノ必要アリト認ムルモノハ政府ハ其會社ト協議ノ上價格ヲ豫定シ帝國議會ノ協贊ヲ求ムヘシ

第十二條 私設鐵道買收ノ費用ハ公債ヲ發行シ代價トシテ其會社ニ交付スヘシ

第十三條 豫定鐵道線路中私設會社ニ敷設ヲ許可シタルモノハ其會社ノ全部線路ヲ買收スルカ又ハ會社ノ申請ニ依リ相當ノ處分ヲナシタル上ニアラサレハ之ヲ敷設セス

第十四條 豫定鐵道線路中未タ敷設ニ著手セサルモノニシテ若シ私設鐵道會社ヨリ敷設ノ許可ヲ願出ル者アルトキハ帝國議會ノ協贊ヲ經テ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第四章 鐵道會議

第十五條 政府ハ鐵道會議ニ諮詢シテ左ノ事項ヲ施行ス

一鐵道工事著手ノ順序

一第十條ノ決定ニ基キ鐵道工事ノ都合ニ依リ其都度募集スヘキ公債金額第十六條 鐵道會議ノ組織ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

○男爵金子有卿君 チョット議長ヘ御尋申上ゲテ置キマスガ、衆議院カラ廻リマシタ送付文ニ前ニ鐵道敷設法案トゴザリマシテ「右政府提出鐵道公債

法案本院ニ於テ修正ヲ加ヘ議決セリ」トアリマス、此名目ヲ敷設法案ト換ヘマシテ廻リマシタ理由ハ議長ノ方ニ何カ御分リニナッテ居リマスカ、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 是レハ衆議院ノ決議案ガ廻ッテ參リマシタニ依ッテ乃チ諸君ヘ御配付致シタノデゴザイマス、全ク衆議院デ修正ニナッタル、存ジマスル、次ニ本案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉ニ移リマス

○若尾逸平君 特別委員ノコトハ實ニ重大ノ鐵道案デゴザイマスレバ色々關係モアリ旁々ノコトデゴザイマスカラ十五人特別委員ヲ選舉致シマシテ各部ニ於テコイツヲ選舉致スコトニ致シタウゴザイマス、

○子爵本莊壽巨君 贊成シマス、

○櫻井伊兵衛君 若尾君ノ說ニ贊成、

○渡邊治右衛門君 贊成、

○渡邊甚吉君 贊成、

○子爵秋田映季君 贊成、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 若尾君カラ委員ノ數ハ十五名ニ致シテ各部ニ於テ選舉スルト云フ動議ガ出テ居リマス、決テ採リマス、若尾君ノ動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 靜肅ニ願ヒマス……少數デゴザリマス、

○三浦安君 唯今ノハ少數デゴザイマシタ、然ラバ各部ニ於テ通選スルコトノ動議ヲ出シマス、

○男爵伊達宗敦君 本員ハ此委員ハ議長ニ委託スルト云フコトノ動議ヲ提出致シマス、

○子爵堀田正養君 唯今三浦君ノ說ハ各部ニ於テ九名ノ委員ヲ選舉スルト云フ御說デゴザリマス、其說ナラバ即チ三浦君ニ贊成致シマス、

○島内武重君 此法案ハ鐵道ノ法案デゴザリマスカラ本員共ハ鐵道ニ關スル事柄ハ十分ナ調ノ出來ル人ハ知リマセヌ、夫レデ議長ノ御手許デソコラ邊ノ人ヲ得マス様ニト考ヘマス、就キマシテハ伊達男爵ノ御說ノ如ク此事柄ハ議長ニ委託スル方ガ宜カラウト考ヘマスカラ伊達男爵ノ說ヲ贊成致シマス、

○山川浩君 伊達君ニ贊成、

○子爵曾我祐準君 三浦君ニ贊成、

○伯爵酒井忠道君 伊達君ニ贊成、

○子爵小笠原壽長君 伊達男爵ノ動議ニ贊成シマス、

○子爵谷干城君 三浦君ニ贊成、

○男爵千家尊福君 三浦君ニ賛成、

○子爵松平信正君 伊達男爵ニ賛成、

○男爵横村正直君 伊達君ニ賛成、

○男爵小松行正君 三浦君ニ賛成、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 決ヲ採リマス、三浦君ノ動議ハ各部ニ於テ選舉スルト云フノデ、伊達男爵ノ動議ハ本席ニ委託スルト云フ動議デアリマス、

三浦君ノ動議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス、
起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 過半数デゴザリマス、

○公爵近衛篤磨君 本員ハ砂鑛採取法案ノ委員會ヲ今日開ク積リデゴザリマスガ、御差問ガナクバ退場ヲ致シタウゴザリマスガ……

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 定足數ニ滿チテ居ルト存ジマスルニ依ッテ近衛公爵ノ請求ハ宜シカラウト思ヒマス……別段御異議ガゴザリマセヌカラ宜シウゴザリマス、

○田中芳男君 本員モ砂鑛採取法案ノ特別委員デゴザリマスカラ退席致シマシテ宜シウゴザリマセウカ、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 宜シウゴザリマス、

○田中芳男君 夫レニ就キマシテ願ッテ置キマスガ、田畑特別地價修正案ニ就テハ通告ヲ致シテゴザリマスカラ、其時ニハ必ス出席ヲ致シマスカラ御沙汰ヲ願ヒマス、

○箕作麟祥君 本員モ同様退席致シマス、

○子爵山内豐誠君 本員モ砂鑛採取法案ノ委員デゴザリマスカラ退席致シマス、

○男爵青山貞君 右同様デゴザリマス、

○田部長右門衛君 本員モ退席致シマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 宜シウゴザリマス、

○子爵岡部長職君 鐵道敷設法案ノ委員ノ報告ハ時日モ餘リ餘裕モゴザリマセヌカラ、ドウカ明後日ヲ以テ委員ノ報告ガアル様ニ致シタイト考ヘマス、

○男爵金子有卿君 岡部君ニ賛成、

○男爵中川興長君 賛成、

○山川浩君 中々此鐵道法案ハ二日ヤ三日デ調ベテ仕舞フト云フノコトハ無理ナコトデゴザリマス、

○男爵伊達宗敦君 山川君ニ同意デアリマス、

○子爵曾我祐準君 今日モ最早晝過デゴザリマス、是レカラ委員ヲ選ビ明

後日ト云フト二日シカナイ、此中ニ委員長ノ選舉モシナケレバナリマセヌカラ、連モドウモ二日デハ出來スト思ヒマスカラ山川君ニ賛成シマス、

○三浦安君 山川君ニ賛成シマス、ドウモ調ベル間ノナイニ報告ヲスルト云フコトハ決シテ出來マセヌコトデゴザリマス、

○子爵谷干城君 山川君ニ賛成致シマス、

○男爵小松行正君 本員ハ岡部子爵ノ說ニ賛成ヲ致シマス、何故トナラバ此問題ハ前ヨリ皆能ク承知ヲシテ居ルコトデゴザリマスカラ……

〔無用無用〕ト呼ブモノ多シ

今日ハソソナニ……

〔無用無用〕ト呼ブモノ多シ

餘程以前カラ衆議院ニ在リマシテ本員ドモハ傍聴ニ參リマシタ、諸君モ御承知ノコトト存ジマスカラ……

〔無用無用〕ト呼ブモノ多ク聴取スル能ハズ

〔村田保君發言ヲ求ム〕

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 靜肅ニ願ヒマス、最早決ヲ採ラウト存ジマスルガ、村田君ハ何ノ御發言デゴザリマスルカ、

○村田君 本員モ山川君ノ說ニ賛成ヲ致シマス、少シク其理由ヲ述ベタウゴザリマス……

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 別段御陳述ニハ及バヌコトデ……

○村田保君 併ナガラ關係ガアルダウト思ヒマスカラ少シク理由ヲ述ベマス、本員ノ考ヘマスルニハ山川君ノ云ハレルガ如ク中々此法案ガ一日ヤ二日デ出來ル譯デハナイ、ト云フモノハ小松君ハ皆分リ切ッテ居ルト云ハレマシタガ決シテ分リ切ッテハ居リマセヌ、本員等ノ見ル所デハ餘程此法案ハ政府提出ノ鐵道公債法案ト鐵道敷設法案等ト込入ッテ居ルカラ是レハ中々二日ヤ三日デハ出來マセヌ、一週間デモムツカシカラウト思ヒマスカラ山川君ノ御說ニ賛成ヲ致シマス、

○鹿毛信盛君 山川君ニ御尋ヲ致シタイ、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 鹿毛君、

○鹿毛信盛君 山川君ノ御說デハ明後日マデニ報告ハ出來ナイカラ……ト云フコトデゴザリマスカ其意味ニ依ッテハ賛成致シマス、

〔御許ヲ得ナイ發言ハ御差止ヲ願ヒマス〕ト呼ブモノアリ

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 發言ハ許シマシタ、

○山川浩君 御尋ナラ答ヘマセウカ、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 御考次第デゴザンス……別ニ御答ニハ及ブマイト思ヒマス、

○山川浩君 シンナラヨシマセウ、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 岡部子爵ノ明後日マデニ委員カラ報告スル様ニト云フ御發議デゴザリマス、岡部子爵ノ説ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 少數デゴザリマス、次ニ是レモ唯今書記官長ヨリ朗讀ニナリマシタル通り岐阜愛知二縣下震災救済及河川堤防工事費明治二十四年度豫算外支出ノ件ハ緊急ニ議決アリタキ旨内閣總理大臣ヨリ請求ガゴザリマシタルニ依ッテ、是レモ唯今第一議會ヲ議事日程ヲ變更シテ開カウト思ヒマス、之ヲ議院ニ諮ヒマス、

○三浦安君 此事件ハ更ニ異議ハゴザリマセヌ、是レハモウ分リ切ッタコトデゴザリマス、鐵道法案トハ丸デ違ヒマスカラ其通りデ宜シウゴザリマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 即チ唯今ノ岐阜愛知二縣下云々ノ件ハ直ニ議事日程ヲ變更シテ會議ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 過半数デゴザリマス、是レハ即チ三議會ノ順序ヲ經ルモノデハゴザリマセヌ、併シ委員ニハ付託ニ相成ルモノデゴザリマスニ依ッテ此段ヲ御承知ニナリマスル様ニ願ヒマス、...朗讀ヲ致サセマス、

〔本内書記官朗讀〕

一岐阜愛知二縣下震災救済及河川堤防工事費明治二十四年度豫算外支出ノ件

右政府提出案本院ニ於テ承諾スルコトヲ議決セリ依テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治二十五年六月六日

衆議院書記官長 水野 遵
衆議院議長 星 亨

貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶殿

岐阜愛知二縣下震災救済及河川堤防工事費明治二十四年度豫算外支出ノ件

右憲法第六十四條第二項ニ依リ承諾ヲ求ムル爲

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

明治二十五年五月六日

内閣總理大臣兼大藏大臣 伯爵 松方正義
文部大臣 伯爵 大木 喬任
外務大臣 伯爵 大 臣 子爵 榎 本 武 揚

貴族院議事速記第二十號

明治二十五年六月七日

岐阜愛知二縣下震災救済及河川堤防工事費明治二十四年度豫算外支出ノ件ニ七九

遞信大臣 伯爵 後藤 象二 郎

海軍大臣 伯爵 樺 山 資 紀

陸軍大臣 伯爵 子爵 高島 勲 之助

司法大臣 伯爵 子爵 田中 不二 麻呂

內務大臣 伯爵 子爵 伯 爵 副 島 種 臣

農商務大臣 伯爵 子爵 河 野 敏 鎌

一金貳百貳拾五萬圓

明治二十四年度豫算外支出額

岐阜縣震災救済及河川堤防工事費

愛知縣同上

金百五拾萬圓

金七拾五萬圓

○政府委員(渡邊國武君) 客年十月岐阜愛知地方ニ起リマシタル震災ハ非常ナコトデアリマシテ、何分財産ヲ失ヒ人命ヲ損スルコトモ甚シイ場合デ、之ニ加フルニ木曾川堤防ノ如キモ百里以上モ破壊ヲ致シマシタ場合デ、已ムラ得ズ政府ニ於テハ臨時支出ヲ取計ヒマシタ、爰ニ承諾ヲ求ムル譯デゴザリマスカラ、夫レ等ノ事情ハ追々御承知ノコトト考ヘマス、嗚々ノ陳辯ハ致シマセヌガ何卒承諾ヲ與ヘラレムコトヲ希望致シマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 別段御發言モゴザリマセヌニ依ッテ、即チ本案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉ニ移リマス、

○子爵松平信正君 此委員ハ議長ニ委任セムコトヲ望ミマス、

○三浦安君 贊成、

○男爵伊達宗敦君 松平子爵ニ贊成致シマス、

○子爵岡部長職君 本員ハ此特別委員ノ選舉ハ各部ニ委託セラレムコトヲ希望致シマス、而シテ委員ハ九名、

○男爵中川興長君 岡部君ニ贊成、

○男爵小松行正君 岡部君ニ贊成、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 岡部子爵ノ動議ハ各部ニ委託スルト云フ動議デゴザリマス、松平子爵ハ議長ニ委任スルト云フ動議デゴザリマス、依ッテ決ヲ採リマス、岡部子爵ノ説ニ御同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者 少數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 少數デゴザリマス、松平子爵ニ贊成ノ諸君ニ起立ヲ請ヒマス、

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 過半数デゴザリマス、依ッテ選定ノ上アトヨリ御報告ニ及ビマス、次ニ本日ノ議事日程第二ノ田畑地價特別修正案第一讀會ノ續ヲ開キマス、

○島内武重君 此田畑地價特別修正ノ問題ニ付キマシテハ最初ヨリ成ル丈
カ討論終局ノ動議ガ起ラナイ様ニシヤウト云フ約束デアリマスカラ満場執
モ默シテ居リマス、ドウモ先刻來ノ有様ヲ見ル所ニドウモ常ニ討論終局ノ動
議ヲ起シサウナ模様ガ見エマス、ドウモ貴族院議員トシテ前ノ約定ヲ取消
スハ甚ダ德義ノナイコトト本員ナドハ大イニ心配致シマス、通告書ヲ出シテ
居ル諸君ハ成ル丈其主意ヲ述ベルヤウ致シタイ、又通告書ヲ提出シテ居リ
マシテモ最早議論ハヨサウト云フ考ナレバ兎モ角モダガ成ル丈ケ諸君ニ於テ
モ討論終局ノ出ナイヤウ偏ニ希望致シマス、
○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 谷子爵、

(子爵谷干城君演壇ニ登ル)

○子爵谷干城君 諸君、本員ハ即チ此法案ニ反對ノ一人デゴザイマス、實
ハ順序ヲ立テテ十分述べタイ考デ居リマシタケレドモ、最早段々本員ノ言ハ
ムト欲スル所ノモノハモウ八分マデハ諸君ノ御口ヨリシテ出テ居ルト考ヘル
ノデ、デ此得失ノコトニ於キマシテハ我々ニ同意ノ諸君ノ御論ニ譲リマシテ
深くハ論ジマス、唯此本員ガ此案ニ反對スルノ主點ヲ論ジマス、併セテ
過日曾我子爵ノ述ベラレマシタコトニハドウシテモ一ツ辯駁シテ置カナケレ
バナラヌコトガゴザイマスカラ御聽ヲ願ヒマス、抑、特別地價修正ノコトハ
是レハ諸君モ御論ノゴザイマシタ通り全體カラ言ヘバ租稅ヲ幾分力減ズルト
云フコトニ於キマシテハ決シテ惡ルイト云フコトハアリマセヌ、出來得ルナ
レバ隨分遣リタイモノデアリマスガ、然ルニ此特別地價修正ト云フモノハ頻
ニ贊成ノ御方ハ公平ヲ得ル公平ヲ得ルト申サレ且ツ又明治六年ノ聖詔ヲ引カ
レマシテカラニ賦ニ厚薄ノ弊ナク民ニ勞逸ノ偏ナキト云フ様ニセヌナラヌト
云フ厚イ詔ヲ基トセラレ喋々ト論ゼラレマシタガ、併シトウトウ此議論ヨリ
推セバ一向效用ノナイ譯デ、矢張り此特別地價修正デ見タトキニハ幾分力稅
ハ減ル譯デアリマセウケレドモ、公平ト云フコトハ得ラレマセヌ、矢張り勞逸
ノ偏頗ガ出來厚薄ノ弊ガ出來ルト云フコトハ是レハドナタモ明ニ御承知ノコ
トト考ヘマス、然ラバ此明治六年ノ聖詔ヲ引カレタ事柄ハ少シモ效用ガナ
イ話デ、又實ニ 聖上ノ御思召ハドコドコマデモ 斯クアラウト存ジマスガ、
併ナガラ今日國家ノ大政ニ我々議員ナルモノガ參與シテ參リマスルニ於キマ
シテハ如何ニ 聖上ガ斯ク思召シマシテモ國家ノ大計上カライカヌト云フコ
トヲ考ヘマシテカラニ爰ハ暫ク斯クナラチバナリマス、マイト云フコトヲ申上
ゲ、意見ヲ述ブルガ即チ議員ノ本分ト存ジマス、唯ニ明治六年ノ聖詔ヲ盾ニ
枕テ喋々ト申サル、ト云フモノハ我々ノ甚ダ取ラザル所デアリマス、遂ニ先
日以來ノ御論ノゴザイマシタ通り此特別地價修正ハ名ノ變々地租輕減、モ

ウ全ク地租輕減ヨリ外ナラヌ、固ヨリ如何ニモ人民ガ立往カヌ、土地ヲ持ッ
テ居ル者ハ是レバドウシテモ仕方ガナイ、土地ハ日々荒レル百姓ハ逃ゲル
ト云フコトニ至リマスレバ固ヨリ本員ナドハ決シテドウモ様ナ急務ガアツテモ
人ガ流離顛沛スルニハ代ヘラレマセヌカラ是レハ十分ニ贊同シテ地價修正ド
コロデハナイ地租輕減モ致サチバナラヌト考ヘル、併シ今日ノ所決シテ斯
ノ如キ譯デハナイト信ジマス、唯其最下點ナル山口或ハ宮城等ノ所ヲ羨ンデ
夫レヨリシテ出ル所ノ苦情ガ重ナ點ニナツテ居ルト本員ハ考ヘル、固ヨリ公
平ヲ欲スルハ誰レモ申スマデモナイ、併ナガラ之ヲ斯ノ如ク單簡ナル方法ヲ
以テカラニ實行シタナラバドウ云フ結果ニナルカト云フニ夫レハ實ニ其所モ
此所モ苦情百端人民ニ於テハ修正シタラバ利益アラウト思フモノガ却テ人
民ガ損害、此位ナコトデアッタカ是レバ洵ニ甚ダ面白クナイト、修正シタ
アトデ失望スルモノガ多カラウト思ヒマス、是レハ贊成スル方ハ申譯ガ立
ツカ存ジマセヌガ、人民ニ於テハ案外ニ失望デアラウト思ヒマス、先ヅ其點
ハ擱キマシテ本員ノ此點ニ不贊成ヲ致シマスルノハ是レヨリ外ニ急ナルモノ
ガアルカラシテ、暫時斯ノ如キ消極的ノコトハ耐ヘテ貰ヒタイ、只管日本ノ
國勢ガモウ一ツ進ムマデ耐ヘテ貰ヒタイト云フガ本員ノ精神デアリマス、デ
曩ニ本員ハ施政ノ方針ト云フ題ヲ掲ゲテ本院ヘ持出シテ政府ヘ建言致ス積リ
デゴザリマシタガ不幸ニシテ議員諸君ノ多數ヲ得マセズシテ成立マセザッタ、
然ルニ此精神ハ此議會ヘ出マシテカラニ一日モ忘レマセヌ、即チ此特別地價
修正ニ反對ヲ致シマスル曩ニ持出シタル所ノ施政ノ方針ノ精神ヨリシテ反
對致シマスノデアリマス、今日ノ有様ハ皆御承知ノ通り富ニ兵事ノ競争ノ
ミナラズ、學術、商業、工業、農業、實ニ世界ト並ンデ競争ヲシナケレバナラヌ
ト云フコトハ多々ゴザイマス、此多々ノ競争ノ際ニ殆ド四千萬人口ヲ有シテ
カラニ國ヲ建テヌナラヌト云フコトニナリマシテハ中ニ政府ハ固ヨリ人民ニ
於テモ深ク慮ラチバナラヌコトト存ジマス、即チ曩ニ施政ノ方針ノ意見ヲ出
シマシタ節ニ唯ニ是レハ勤儉尙武デアアル兵ヲ盛ニスルノデアルト云フテ頻リ
ニ攻撃ヲ受ケマシタガ、全ク本員ナドノ差出シマシタ主意ハ單ニ兵備ヲ擴張
スルノミノコトデハ彼ノ時ノ建言ニ於キマシテモゴザイマセヌ、順序ヲ逐ヘ
バ固ヨリ兵ト云フモノハ今日ノ急務デアリマスケレドモ即チ國家ヲ進歩サセ
外國ニ對シテ商業、工業、農業、學術等ノコトモ此競争ニ適スルニハドウシテ
モ金ガナクツテハ出來ル仕事デハゴザイマセヌ、夫レ故ニドコドコマデモ政
府ハ固ヨリ人民ニ於キマシテモ勤儉ト云フコトヲ基トシテ參ランデハ逆モ出
來ナイト考ヘマス、即チ今此地租ヲ減ジマシタ時ニハドウ云フ人ノ利益ニ
ナルカト云フニ、或ハ小作人ニ之ヲ割リ與ヘルカラシテ小作人ノ利益ヂヤト
云フ御論モゴザリマスルシ、又ハ決シテ地主ト云フモノハ大キナモノバカリ

デハナイ細イモノニ地持モアルカラシテ矢張り民力休養ノ一部ニモナルト云フ論モ段々承ツタ様デゴザリマス、ケレドモ今日日本員ノ考ヘマスル所デハ左様ニハ考ヘナイ、先ヅ今日此地價ヲ減サウト云フ方ノ修正ヲシヤウト云フ方ノ……シテ貰フタラバ宜イト云フ方ノ點カラ云ヒマスレバ隨分耐ヘラル、人共デアラウト考ヘマスル、夫レ故ニ即チ本員ハ御氣ノ毒ナガラ耐ヘテ貰ヒタイト云フ精神デ、固ヨリ漸々ニ國力モ進ミマスシ又稅權ノ恢復等ガ出來マシタ以上ハ何ヲ先ニ減ズルカト云ヘバ、夫レハ固ヨリ地租ヲ減ズルコトニ本員モ御同意ヲ致シマセウ、併シ今日ノ日本ヲ維持スルニハドウシテモ右ニ述ベマシタ通り金ガナクテハ之ヲ維持シテ往ク譯ニハ參ラス、又頻リニ進歩進歩ト云フコトヲ能ク聞キマスガ其進歩ヲ圖ルニハドウシテモ金ヨリ外ニ仕方ガナイ、スレバ此日本ノ國家ノモウ一ツ鞏固ニナルマデノ所ハ實ニ薪ニ臥シ膽ヲ嘗メテ耐ヘテ貰ヒタイト云フノガ本員ノ精神デアリマス、夫レ故ニ此國庫ニ餘裕ガ出來タレバ唯ニ之ヲ皆軍事ニ打込シテ仕舞フト云フ様ナ考デハアリマセヌ、ガ一番急ナルハ何カト云フト軍事デアリマスカ軍事ニ重キヲ置イテ論ヲ致シマスル、併ナガラ單ニ之ヲ軍事ニノミ使フト云フ考デハアリマセヌ、デ是レヨリ一ツ曾我子爵ノ先日ノ御論ニ對シテ辯ジテ置キマセヌト甚ダ本員ノ論ガ薄弱ニナル様ニ考ヘマスルカラ曾我子爵ノ御論ニ對シテ辯ジヤウト存ジマスル、曾我子爵ノ御論ハ隨分多端ニ涉ッテ居リマシタガ、其軍事ノ部類ニ於キマシテ凡ソ歐羅巴各國ニ於テ軍備ニ用井ル所ノ金ト云フモノハ歲入ノ百分ノ二十四五ヨリシテ百分ノ三十四五ニ止マリ平均スレバ百分ノ三十位ノモノデアル、我邦ニ於テモ既ニ海陸軍ヲ合セテカラニ百分ノ三十位ハ費シテ居ルコトデアル、然ラバ此上軍事ニ費ス必要ハナイ、是レデ以テ始終競爭ヲシテ往ケバトウトウ軍事ノタメニ競爭シテ國ハ疲レテ仕舞フ、寧ロ其本ヲ養フタメニ地租輕減ヲスル方ガ宜シイ、若シ地租輕減ヲシタナラバ却テ人民ノ希望モ達シ或ハ衆議院ノ御機嫌モ宜シイ、サウスレバ他日軍事ノ擴張ヲ計ル點ニ於テモ最モ便利ガ宜イト云フ様ナ御論デアッタト考ヘマスル、誠ニ是レハ驚キ入ッタ御論デアリマス、成程豫備兵ヲ置キ凡ソ今日ドノ位ノ兵力ガアレバ此國ハ保テルト云フ點ニ於キマシテハ夫レハ曾我子爵ノ申サレタ通り大抵百分ノ三十位ノ所デ宜シウゴザリマセウ、既ニ夫レデ遺ッテ居ルカラ往ケルニハ相違ナイ、是レハ大抵物ガ備ッタ以上ノコトデゴザリマス、先ヅ早ク申セバ觀音崎ノ砲臺モ大抵出來テ此百万ノ人口ハ先ヅ安心ガ出來ル、攝海ノ防禦モ一ト通り出來テ矢庭ニ神戶大阪ニ大砲ヲ打込マル、氣遣ハナイ、下ノ關海峽モ十分締切ルコトガ出來、豫州藝州ノ海峽ハ一艘モ軍艦ヲ通ズルコトハサセナイ、或ハ對州ナリ或ハ佐渡ナリ一ト通り夫レ夫レ必要ナル島島ノ防禦ガ出來タ以上ハ、年々其國ヲ保ツ國力ト云フモノハ夫レハ曾我子爵

ノ申サレタ通り百分ノ三十デ宜シイ、併ナガラ今我が日本ハドウ云フ境界デアルカ、成程常備兵五万ハアリマスル之ニ適スル器械モ一ト通りアリマスルガ、初御一新前ヨリ喧マシウ言ッテ居ル所ノ攝海ノ防禦ト云フコトハドウデゴザリマセウカ依然トシテ明ッ放シト云フテモ宜シイ、又今日ハ紀州ノ苦ケ島淡州ノ由良港或ハ下ノ關、對州サウシテ觀音崎ト云フ様ナ所ハ略ボ著手ハシテ居リマスルガ殆ド一箇所モ成就トハ參ラス、縱令今著手シテ居ル所ガ良ク出來マシタ所ガ其結果ハドウカ丁度袋ヲ拵ヘテ底ノナイ様ナ理屈デ口ハ締メタケレドモ下ガ抜ケテ居ル、豫州ト紀州トノ間ノ海峽ト云フモノハドウカラデモズンズン這入ッテ來ル、攝海ヲ封ヲ藝州淡州ノ軍港ヲ固メタ所ガ此藝豫ノ海峽ヲ占メテバ何ニモナラナイ、是レモマダ少シモ著手シテナイ、施政ノ方針ヲ論ズル時ニモ申シマシタガ初日本ニ西洋形ノ帆船船ナリサウシテ蒸汽船ナリ其他舊來ノ日本形ノ商賣船ト云フモノヲ擧ゲマスレバ何萬ト云フ船ガゴザリマスガ若シ一朝事ノアツタ場合ハ此船ハドウシマスカ、何處モ船ノ籠城ヲスル所ト云フモノハ一箇所モナイ、又我が海軍ガ外國ノ聯合艦隊ニ當ルコトガ出來ルカト申シマスレバ迎モ是レハ望ムベカラザルコトハ海軍大臣ガ衆議院デ述ベラレタル通り十二萬噸ノ軍艦ヲ備ヘテバナラスト云フ斯ウ云フ話デ迎モ出來ル話デハナイ、依ッテハ先ヅ以テ缺クベカラザル前後ノ考ヲ先キニセテバナラス、夫レニハ東京灣ハ申スマデモナク、紀州淡州ノ海峽豫州藝州ノ海峽ア一云フ所ヲ早ク締切ッテ若シ困難ガ起ッタナラバ是レニ商賣船其他ノモノガ逃込シタナラバ先ヅ一時ノ安寧ハ保テルト云フコトヲ早クシテ置カチバナラスト考ヘル、實ニ天下ノ變ト云フモノハイツアラウヤラ知レマセヌ、是レニ事ガナイカラト云フテモ東京灣ノ防禦ハ漸ク年ガ縮ンテ明治四十四年………四十四年デ第三海堡ガ出來上ッタ所デドウ云フモノカト云フト私共ノ考デハ誠ニ危ナイモノト考ヘマスル、ト云フモノハ此海堡ヲ守ルニ付テハ他ニドウシテモ之ヲ助クル所ノ要塞ト云フモノガナケレバ是レバカリテ守ル譯ニハ往カヌ、ト云フモノハ後ロカラシテ此向フノ房州ノ方カラ彼ノ館山灣ナドト云フ様ナ所カラ敵ガ上ッテ來タラドウシマス、是レ等ノ所ハドウシテモ陸ノ要塞ヲ拵ヘテバナラス、夫レニ用井ル砲モナケレババナラス、又三浦岬ト云フ様ナ觀音崎ノ後ロノ方モドウカセチバナラス、其他藝州淡州ノ海峽ニナリマシテモ唯ト鼻ニバカリ拵ヘテ夫レデ守レルモノデナイ、即チ其臺場ヲ守ルタメニ多少要塞ヲ拵ヘテバナラス、是レハ政府委員ニモ論ノアリマシタル通り數箇所ニ拵ヘテバナラス所ガ澤山アルケレドモ財政ガ許サスカ仕方ガナイト云フ、斯ウ云フ論デアリマシタ、デ如何ニモドウモ國庫ニモ金ハ少シモナシ人民モ困窮シテ如何トモナラスト云フコトナレバ成程實ニ仕方アリマセヌ、ガ今日日本員ノ述ベマスル通り此特別地價修正ハ十年ヤ十五年ハ

待ッテ貰フコトガ出來ルと思フ、デ日本ノ人民ヲ喻ヘテ申シマスレバ誠ニ古イ日本形ノ帆船デ大海ヲ渡ッテ行キヨル様ナモノデアアル、成程風波ガナイカラ照照雍々トシテ皆ナ安心シテ居ル、就テハ色々ト物好キガ出テカラニ種々ノ注文ガ出マスガ、併シ一朝颶風ガ起ッタルキニハドウカ、今云フ通り沿岸ノ船ハドコモ逃込ム所ハ一ツモナシ、アララレルカ、打碎カレルカ此二ツニ外ナリマセス、實ニ颶風ガ起ッタルトキニハ直ニ覆ヘサル、ハ分リ切ッテ居ル、誠ニ危イコトト本員ハ考ヘル、本員ハ固ヨリ勤儉主義デアリマスカラ今此我國ノ兵隊ノ兵營モ立派ナリ服モ立派ナリ是レハ結構ナルコトデアアルケレドモ是レ等ハ我が主義カラ云ヘバ第二廻サチバナラヌコト考ヘル、是レ等ニ就テハ又多少節減ヲシテカラニ必要ノ所ニ用井ルコトガ出來ヤウト考ヘマスルガ、何ニシロ今申シタル通り少シモ門戸ノナイ……盜賊横行ノ世ノ中ニ少シモ門戸ノナイ家ニ安ンジテ寢入ッテ居ルト云フコトハ隨分危イ話デアアル、是レ等ノコトヲヨク一ツ御考ニナッタナラバ私ハ諸君今申シタル通り十年ヤ十五年之ヲ耐ヘルコトカ出來ナイト云フコトハアルマイと思フ、ドウシテモ是レハ耐ヘテ貰ハニヤナラヌと思フ、今此地價修正ニ依ッテ國庫ノ金ノ減ズルモノヲ假ニ三百万圓ト積ッテ十年ニ三千万圓ト云フ金ニナル、此三千万圓ノ金ヲ用井マシタナラバ、固ヨリ完全トハ行キマスマイケレドモ之ヲ餘分ニ用井タトキニハ今云フ紀淡ノ海峽藝豫ノ海峽モウ一步進ンデ先キノ豐後佐賀ノ關ノ所、夫レカラ豫州トノ間、是レ等モ全ク締切ルコトハ出來マセズトモ第一ノ防禦トシテカラニドウシテモ力ヲ込メニヤナラヌ場所デアアル、夫レニ致シテカラニ對州ナドノ所ニ一ト通り防禦ヲ附ケルコトハ難イコトデアアルマイト考ヘル、其他佐渡ナリ大島ナリ或ハ北海道ナリドウシテモ器械ト云フモノヲ作ッテ置カ子バ、ソリヤト云フ場合ニ人間ハアッテモ仕方ハナイ、不完全ナリニモ器械ト云フモノハ拵ヘテ置カ子バナラス、ガ其島々ニ備ヘル様ナ器械ハ逆モ私ハアルマイト考ヘル、國民軍國民軍ト云フコトハ云ヒマスガ、切國民軍ヲ起スニナリマシテハドウデゴザイマセウ、器械ガ餘程澤山ニ要ル、器械ヲ取入レルト云フコトハ最モ必要デ直グニ出來ルモノデアナイノデ、ドウシテモ此競争ノ際ニ當ッテカラニ……世界ノ競争ノ際ニ當ッテカラニ、國ヲ建テルニ就キマシテハ外務大臣ニ於キマシテモ國家ノ力ト云フモノヲ後立テニセズシテ應接ノ出來ルモノデアナイト考ヘル、陳腐ノ様デアリマスルケレドモ孔子ガ如キ聖人デモ軍備ガナケレバ十分ニ外國ニ對シテ應接ガ出來ナイ、依ッテ彼ノ文事アルモノハ必ズ武備アリト云ッテ夾谷ノ會ニ兵ヲ連レテ行ッタト云フコトガアリマス、是レハ決シテ舊イコトノミデアリマセス、凡テ歐羅巴アタリノコトデモ御承知ノ通り詰マリ國威國勢ト云フモノガ張ラヌ以上ハ何事モ是レハ議論ト云フモノハ行ハレルモノデアナイ、然ルニ條約改正條約改正ナドト

云フ論ガアリマスケレドモ遂ニ是レモ亦空論ノミ、ヨシ又文面上ノ條約ガドシコトデアアル、誠ニ日本ハ開國以來今日マデドウ云フ地步ニナッテ居ルカト云フト誠ニ哀シイ地ニ立ッテ居ルト云フコトハ諸君ノ御承知ノコトデアリマス、又進歩進歩ト云フコトハ有志ノ諸君ノ常ニ口ニセサル、所ノコトデアリマスル、ニモ拘ハラズ斯ノ如キ急ナル場合斯ノ如キ地位ニ在リナガラ此進歩ハ暫ク止メテ置イテモ消極的ノ地租輕減ヲセラル、ト云フコトハ誠ニ私ハ甚ダ残念ナコトト考ヘル、ドウカ多少ノ地方ノ感情ハ滅却セラレテ本員ノ意見ニ參同セラレテカラニ十年乃至十五年ハドウシテモ動カナイ日本ノ國家ヲ可ナリ安全ノ位地ニ置クマデハ鹽ヲ嘗メテモヤルト云フ精神ニナッテ貰フコトヲ希望致シマスルノデ、決シテ本員ハ之ニ反對スルノハ之ヲ以テカラ……此金ヲ以テカラニ煉化石造ヲ作り之ヲ以テ誇大ナル政治ヲナサウト云フノデハナイ、ドウカ之ヲ以テ實益ニ用井タイ、其中ニハ學校モアリマスル、商業モ農業モ鐵道モ其中ニアル、一方ニ鐵道鐵道ト云フ論ガ頻リニアリマスルケレドモ公債ヲ起シテ拵ヘルトカ種々ノ論ガアリマスルガ此事ニ就テモ本員ハ大變此鐵道熱ニ浮サレテ居ル人トハ考ガ違フテ居ル、夫レハ他日ニ譲リマスガ何ニシロ今日進歩ノ方針ヲ取ル、スレバ兩方伸ブルコトハイカヌカラ一方ハ儉勤ニシテ儉約ヲシ、サウシテ其金ヲ以テ有用ノコトニ使ハウ、其有用ノ中デ最モ急ナノハ何カト云フニ今申シタル通り沿岸ニ必要ナル所ノ防禦ト云フモノハ一旦ハドウシテモ堅クシテ置カ子バナラス、夫レガ一旦出來タ以上デ……一ト通り國防ノ出來タ以上デハ夫レハ曾我君ノ仰シヤル通りモウ平生ノ入費ト云フモノハ百分ノ三十位デ宜シカラウト思フ、未ダ日本ナドハ地形モ餘程歐羅巴各國トハ違ッテ居ルノデゴザイマスカラ、斯ウ云フ方ハ構ハヌケレドモ一旦ハ兎モ角餘程金ヲ懸ケチバナラナイ、大略斯ウ云フ理由ヲ以テ本員ハ此特別地價修正ニハ斷然トシテ反對ヲ致シマスル、滿場ノ諸君、諸君ハ即チ貴族院ノ議員デアアル、貴族院議員ノ諸君ハ衆議院デ決議シテ來タコトハ兎モ角モ之ニ從ハチバナラヌ若シ之ニ從ハヌトキニハ遂ニ他日ノ軍備擴張モ出來ナイト斯ウ云フ様ナ御考デアッテハ大變ナ間違デアリマス、サウ云フコトニナッテハ兩院ニ立テラレタ主意ト云フモノハ立タナイ、貴族院ハ貴族院、衆議院ハ衆議院、斯ノ如クニナッテコソ始メテ兩院ノ效能ハ立ツト思ヒマス、諸君願ハクハ國家ノタメニ本員ノ議ニ參同セラレムコトヲ希ヒマス、

○桑田藤十郎君 議長、

○桑田藤十郎君 議長、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 桑田君ハ何デゴザイマス、御質問デゴザイマス、

○桑田藤十郎君 緊急動議デアリマス、本問題ノ重大ナルコトハ諸君モ御

承知ノコトデアリマス、且數日此案ニ就テハ討議ニナツテ居リマス、最早詮議
モ盡サレタモノト考ヘラレマス、依ツテ討論終結ノ動議ヲ起シマス、

〔此時「贊成」ト呼ブ者アリ〕

○三浦安君

議長、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君)

三浦君、

〔此時「議長」ト呼ブ者アリ〕

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君)

三浦君ニ發言ヲ許シマシタ、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君)

〔此時島内武重君述ブルコトアリ低聲ニテ聽取スル能ハズ〕

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君)

島内君靜肅ニ願ヒマス、

〔三浦安君演壇ニ登ル〕

○三浦安君

此特別地價修正ノ問題ハ段々諸君ノ御討論モ重サナリマシタ
様デゴザリマスガ、本員ハ少シ其選ヲ異ニ致シマス、是レマデ諸君ノ御論ニ

ナリマシタ所ハ唯多數ノ人民ガ之ヲ請願スルトカ、或ハ衆議院ニ於テ之ヲ議
決シテ貴族院ニ出シタト云フ所ノコトニ付テハ御論辯ガ多イ様ニ存ジマスル
ガ、此事ニ付テハ本員ハ政府ニ於テ十分ノ責任アリ十分ノ義務アリト存ジマ
ス、或ハ政府ニ於テ責任アリ義務アリト云ヘバ即チ地租改正ノ時ノ詔ニ毎度
賛成諸君ノ申サレマス所ノ賦ニ偏輕偏重ノ弊ナク民ニ勞逸ノ弊ナカラシムル
ト云フ是レガ地租改正ニナリマシタ所ノ大趣意デゴザリマス、然ラバ政府ハ
其上論ニ對シテ即チ此事ヲ其御趣意通りニ履行セヌナラヌ責任ヲ持ツテ居リ
マス、又地租改正條例ノ中ノ第七條ト存ジマスガ、即チ此地租ト云フモノハ物
品稅ガ二百萬圓以上ニ至ルコトニナレバ地租改正ノ出來タ府縣ヨリシテ追々
百分一ニスル等デアル、斯ウ云フコトヲ地租改正條例中ニハキリト見エテ居
リマス、然ラバ地租ヲ平均ニ定メマスルノハ勿論ノコト、公平平均ニ定メタ上
追々物品稅ヲ増ス時機ニ至レバ之ヲ輕減スルト云フコトハ殆ト人民ト約束チ
シタト同様ノ義務ヲ持ツテ居リマス、況ヤ政府ト云フモノハ人民ヨリ租稅ヲ
納メシメテ國家ヲ治メマスル所ノ用ヲ辨ジマスルノガ政府ノ任デゴザリマス
カラ、假令何ガ無クモ第一人民ノ義務ヲ務メシムル所ノ租稅之ヲ公平平均
一ニスルト云フコトハ何ガ無クモ政府全體ノ義務ト云フコトハ分ツテ居リ
マス、之ニ加フルニ右ノ上論ノ責任アリ、之ニ加フルニ之ガ改正ハ豫メ人民ニ
對シテ終ニハ百分一トスルト云フコトマデニ地租改正條例ニ掲ゲマシタ以
上ハ此地租改正ノ趣意ハ始ハ能ク公平平均一ニシテ勞逸ノ弊ナカラシムルト云
フ様ニ改正ヲシテ而シテ後追々地價百分一ニ至ラシムルト云フハ日月ヲ懸
ケタル如ク明ニ分ツテ居リマス、夫レデ之ヲ履行スルハ政府ノ責任政府ノ義
務ナリト言ハザルヲ得ヌデゴザリマス、夫レニ付テ大イニ敷衍ヲ致スベキコ
トハ唯今谷子爵ノ御演說ヲ承リマシテゴザリマスガ誠ニ大議論ガ生ジテ居リ

マス、先ツ反對諸君ノ說ヲ辯ジマスルニハ一番御耳ニ留ツテ居リマス所ノ即
座ニ留ツテ居リマス谷君ノ御說ヨリシテ辯明致シマセヌト非說ガ明ニナラヌ
様ニ思ヒマスカラ……谷君ノ御說ハ是レハ地價修正スルト云フコトハ畢竟地
租輕減ト云フコトデアルト言ハレ、加藤君モ御同論ヲ專ラ加藤君ハ其通り辯
ゼラレマシタ、依テ此事ヲ辯ゼヌナリマセヌ、特別地價修正ハ地價ノ高イノ
ヲ減ジテ低イモノニスルカラ自然地租ヲ輕減スルノト同ジデアルト言ハレマ
シタガ是レガ違ヒマスノデゴザリマス、地租ヲ輕減スルト云フコトハ一般ニ
平均ヲ得テ居リマシテモ尙ホ其上ヲ減ジテ行クノガ地租ノ輕減デゴザリマス
初期ノ國會ニ於テ、衆議院ニ於テ可決ニナツタ此方ニ廻リマシタ所ノ衆議院
ノ提出案即チ地租ノ輕減、是レハ本員等モ大分大不同意デゴザリマス、ナゼ不
同意カト申シマスルノニ地租ノ平均ト云フコトヲ主トシテ論ズル際ニ當ツテ
此不公平ノ地租ヲ減ズルト云フコトハ誠ニ道理ガ立チマセヌ、且ツ地租ト云
フモノハ狹ニ減少スベキモノデナイカラ是レニハ大反對デゴザリマス、併シ
今般ノ衆議院ノ提出ノハ地租輕減ガ主デハゴザリマセヌ、地租ノ不公平ヲ均
ラシマスタメニ幾分カノ特別修正ヲシタイト云フノデゴザリマスカラ、其結
果ハ地租ヲ減免ニ至ルト云ヘバ固ヨリ地租ノ高過ギル所ヲ減ズレバ地租ノ減
少ニハナリマスケレドモ是レハ一般ニ向ツテ地租ヲ減少スルト云フコトトハ
固ヨリ違ヒマス、如何セム先刻モ申シマスル通り偏輕偏重ナキ様ト云フ御趣
意デゴザリマス、之ヲ改正スルニハ百分一ノ一マデニスルト云フコトハ殆メ約
束同様ノコトガアルノデゴザリマスカラ、是ニ於テ政府ノ處分上カラシテ
不公平ノ定メデアルナラバ之ヲ平均セヌナラヌト云フコトハ政府ノ義務責任
ハ免レマセヌノデゴザリマス、依ツテ低イモノニ及ボスニアラズシテ高イモノ
ニ出來ル丈ケ平均ヲ得セシメヤウト云フノデゴザリマスカラ此趣意ニ於キマ
シテハ即チ政府ノ責任タリ政府ノ義務タル所ニ對シテ勿論サウアルベキコト
ト存ジマス、斯ク申シマスレバマルマル此度ノ衆議院ノ議決ニ同意カト申セ
バ本員ハ違ヒマスル趣意ヲ以テ贊成ヲスルノデゴザリマス、然ルニ之ヲ地租
輕減ト地價修正ト一ツモノトナシ剩ハ地價修正ノ名ハ變ハレドモ其實地租輕
減ヲ欲スルモノデアルト云フテ地租輕減ノ不條理ニ陷レテ反駁スルト云フコ
トハ是レハ分別ノナイ說ト思ヒマス、是レハ諸君宜シク御辨別ニナラチバナ
リマセヌ、今地價修正ノ自然ノ結果ガ地租輕減トナリマスルケレドモ地價修
正トハ夫レ夫レ趣意ノ違ツタ點デゴザリマス、趣意ノ違ツテ居ルコトハ違ツテ
居ル其趣意ノ違ツテ居ルモノヲ持ツテ來テ其實ハ地租輕減ト同ジコトダト云フ
コトハ此案ニ對シテハ決シテ言ハレヌコトデゴザリマス、是レデ谷君加藤
君ノ御說ニ對シテハ第一ノ不條理ト存ジテ居リマス所ノ地租輕減ノイヤミヲ
以テ地價修正ノ美ナル趣意ヲ抹殺スルコトハ出來マセヌト御承知下サリタウ

ゴザリマス、尙ホ又谷君ノ御説デハ即チ勸諭武ヲ修メ民ヲ養フト云フ所ノ説ヨリシテ大イニ反對ヲ唱ヘラレマシタガ、本員モ勸諭説ヲ贊成致シマス所ノ同意ノ一人デアリマシテ、蓋シ谷君ニ優ルアツテ劣ルナキノ勸諭主唱者デゴザリマス、然ルニ此國防軍防ノコトヨリ論ジラレマシテ折角其方ニ用非テ居ル政府ノ費用ト云フモノヲ地價ヲ修正スレバ減少シテ其方ノ廻リガ惡クナル、今日萬國競争ノ時ニ當ツテ内國……國防ノ備ヘ完カラザレバ殆ド門戸ナキ家ニ坐スルニ同ジイト云フコトハ誠ニ御尤モ其通りナラナラヌ、依ッテ昨年勸諭ヲ元トシテ政府ノ費用ヲ減省シテ實事ニ用ウルト云フコトハ飽クマデモ主張ヲ致シ飽クマデ贊成ヲ致シタノデゴザリマスガ、此人民ノ協和ト云フモノハ一番國ニ大切デゴザリマシテ谷君ガ孔子ノ語ヲ御引キニナリマシタガ同ジ孔子ヲ主張スル所ノ矢張り聖人君子ナドノ語ハ天ノ時ハ地ノ理ニ若カズ地ノ利ハ人ノ和スルニ若カズトアルノデ調和ト申シマスルモノガ一番國ノ基本トナルモノデゴザリマス、即チ調和ハ即チ上諭ニモ云々ノ公平ノ御趣意ガアル條例ニ於テモ云々ノ約束ヲシテ居ルノデ地租ノ不平均ヲ來タシタト云フノハ政府ノ處分上ニ於テ不平均ヲ行フト言ハナケレバナラヌ、此地租ノ不平均ニナツタノハ最早諸君ガ囂々御述ベニナツテ居リマス斯縣ヲ云ヘバ山口縣宮城縣元ノ水澤縣或ハ鳥取縣岡山縣廣島縣ヲ以テ其他各地ノ高イ所ト比ベマスレバ殆ド倍以上高クナツテ居ルモノガアル、是レハ反對論者ガ言フ通り鐵道ガ出來タカラダ運河ガ出來タカラダト云フガ決シテサウデハナイ、始カラ不平均ナ定メ方ヲシタノデアル、即チ政府ノ處分ガ、趣意ガ變ツテ始ハ寛カニシテ中頃ハ嚴ニシテ末ハ少シ寛カニナツタト云フコトハ地租改正當時ノ有様ヲ見マスルト明ニ政府ノ處分ハ上諭ニ背イテ不公平ナ處置ヲシタト謂ハザルヲ得ヌノデゴザリマス、併シ政府モ意アツテ態ト致シタノデハゴザリマセヌ、其時ノ事ヲ急ギマシタノデ始メアームツカシクナラウト思ツタノニ早ク取調ベテ輕シク許シタノハ中頃テ遂ニ地租ハ減ツテ仕舞フト云フ所ニ氣ガ附キマシテ中頃ハ林君ノ言ハレル通り命令同様ニ割附ヲシテ高イモノガ出來マシタ、夫レカラ追々處分ガ出來テ末ニ至リマスト稍々目途ガ立チマシタニ依ツテ處分ヲ寛カニナツタノデ是レハ初中後ノ處分ニ照シテ判然ナコトデアリマス、斯ノ如キノ次第デアリマスレバ、ドウアツテモ政府ノ責任義務トシテ今日之ヲ行ハナケレバナラヌノデゴザリマス、其行ハマナラヌト云フコトハ何ヲ元トスルカト云フト假令今日人民銘々カ地租ノ高イ所デアレ低イ所デアレ生活ノ度ニ違ヒハナイ流離顛沛スルニ至ラヌカモ知レマセヌ其處ガ即チ不平均……偏輕偏重デ人ヲ失フ基トナリ其萬民ノ怨嗟スル所ハ幾何デアリマセウゾ、諸君此處ニ食ヲ與フルニ卓ヲ同ウシテ一方ハ一品カ二品デ片ッ方ハ三品カ四品ヲ備ヘタ丈ケデ夫レデ安ンジマセウカ、夫レト同ジコトデ萬民

ハ其和スル所ノ不平均ヨリシテ遂ニ不平均ヲ怨ムヨリ種々様々ノ説ガ出マシテ是レハ御維新ノ勸諭地價アルカラ山口縣ハ地價ガ安イト云フコトヲ云フテ怨讟ヲ及ボスコトニナリマス、勿論政府トモ決シテ斯様ナ趣意デアリマセヌ、唯早ク調ベテ出來タモノニ寛ウシテ地租ガ輕ウナツタ所以デアリマス、詰マリ人民ノ怨ノ側カラ種々様々ノ言フベカラザル怨讟ヲ生ジマス、其怨嗟ノ聲ガ日々激シウナリマスニ依ツテ即チ代議院タル所ノ衆議院ニ於テ此地價修正ヲ持出シマシタルコトハ本員ハ決シテ唯議院丈ケノ説トハ存ジマセヌ、即チ地租ノ不平均ヲ歎ク所ノ一般ノ人民ヲ代表シタル所ノ案ト認メマスノデゴザリマス、デ若シカ此不和ガ治リマセヌ時ニナリマスルト云フト如何程ニ國防ガ整ヒ如何程ニ器械ガ整ヒマセヌ所ガ人民ノ不和ト云フモノハ遂ニ國家ノ大亂ヲ起シマスル、加フルニ敵國外患アル時ハ中々其一段ニナリマスルト政府ノ貯蓄財産ノミデハ足リマセヌ、今日ノ經濟上デハ別ニ貯蓄ガゴザリマセヌカラ公債ヲ募ラナケレバナラヌ、或ハ資本ノアル者ハ即チ古ノ御用金ト同様金錢ヲ出シテ助ケル者モ出來ヤウ、此位ノ勢デシナケレバ外國ニ對スルコトハ出來マセヌ、ソコニ至ツテ人民怨嗟ノ聲滿チ人民不和ニナツテ斯ノ如キ地租ノ不平均アルモノヲ政府モ義務ヲ盡サズ上諭ニ對スル責任ヲ盡サズ、成掛リデ是レデ治メテ置イテ宜シイト云フコトナラバ此政府ヲ有リ難ガル者ハナイ様ニナリマス、サウナリマシテハ即チ國ガ如何ナルモノデアリマセウカ、是レモ從前手ヲ著ケマセズシテ今ニ始ツテ居マセウナラバ致方モアリマセヌガ即チチャント履歷モノアリマシテ初ニ地租輕減地租改正ノ時カラ唯今ノ時マデヲ言ヒマスト歷々政府ハ責任ト義務ヲ持ツテ居リマスル、人民ヨリモ斯ク請願シ衆議院ニ於テモ斯ク提出サレタノヲ其趣意マデヲ丸デ抹殺シテ仕舞フト云フコトハ果シテ貴族院議員ノ義務デアリマセウカ、アリマスマイカ、谷君ノ御説ニ貴族院ト衆議院ト差引スルニ及バヌ……是レハ本員ハ更ニ辯ジマセヌ、恐ラクハ御失言ト認メマス、貴族院ト衆議院ト比較シテ彼レハ此レ、此レハ彼レト別ニ辨別ハアルベキコトデアリマセヌ、是レハ恐ラクハ谷君ノ御熱心ノ餘リニ……

〔子爵谷干城君 夫レデハ一院論ニナリマス〕ト述フ

……御説ノ間違ト存ジマスカラ此事ハ辯明致シマセヌ、又全國中デ地租ノ不平均ヲ歎ク者ガ多クアラウカ少ナクアラウカト云フト即チ歎ク所ノ者ガ多イ、其多イ所ノ地價修正ヲスルコトヲ丸デ出來ナイモノデアアル、スベカラザルモノデアアルト云フ、尾崎君ノ御説ニ至リマシテハ人間デハ出來ナイ、或ハ鬼神カ猿デナケレバ出來ナイト云フ御説ニナリマス、是レハ以テノ外ノ御説ダト存ジマス、即チ地租ノ不平均ハ人間ガ拵ヘタ、政府ノ人間ガ拵ヘタ、然ラバ之ヲ拵ヘタ人間ガ直サナケレバナラヌ、又直シ得ラル、是レハ方法次

第デ出来マス、其方法ヲ論セズシテ人間ニハ出来ナイト云フ御説ニ至ッテハ誠ニハヤ呆レガキレタ尾崎君ノ御説ト思フ、是レモ蓋シ舌ガ滑ッテ言ハレタモノト存ジマス、サテ是レヨリ本員ノ勤儉説ノ谷君ニ御同意ノ所ニモドリマスガ、素ヨリ本員モ人民ヲ休養シ國防ヲ十分整ヘマスヲ實業ヲ獎勵スルタメニ勤儉ヲ主張シマスノデアリマスガ、今日マデ政府ノ有様ヲ見マスルト善イコトモ澤山アリマスルガ、追々ノ勤功ニ泥ミシタリ誇リマス所ノ我儘ヲ生ジマシタモノデ、近來ノ所デハ修飾奢侈ノ弊ヲ免レヌコトハ歴々目ニ見エテ居リマス、是レハ勤儉ヲ以テ主義トセズンバ國防モ整ハズ實業モ獎勵スルコトハ出来マセヌカラ勤儉主義ヲ建議致サウト云フコトニ力ヲ盡シマシタノデゴザリマスガ、此勤儉主義ナルヲ以テ地價修正ニ不同意ト云フ點ニ至ッテ違ヒマスルノデ、本員ハ唯今ノ政府ノ上ニ於テ愈々本員等ノ言フ所ノ勤儉主義ヲ取ッテ節減ヲサレマスレバ政府ノ費用七千万圓ノ中デマダ或ハ三百万圓或ハ五百万圓或ハ六七百万圓ハ減少ガ出来ルト見テ居リマス、先ツ本ヲ正シテ後ヲ末ニ及バヌナリマセヌカラ第一勤儉主義ト云フモノハ政府ニ濫費ノナイ様ニ租稅ヲ輕シク用ヰヌ様ニ租稅ヲ重シク用ヰヌ様ニ一點モ無駄ノ費用ヲ使ハズシテ勤儉ヲ本トスルト云フコトガ第一著手デアラウト思ヒマス、夫レガ出来マスルト蓋シ一千万圓近クノ節減ハ出来マセウト存ジテ居リマス、夫レカラ行キマスルト云フト之ヲ以テ國防軍防ニモ施スコトガ出来マスル、又唯今政府ノ經濟上ニ殆ド三百万圓程ノ餘裕ガアルト見マスレバ之ヲ以テ地價修正ニ用ヰタイト云フ説ノ起ルノモ是レハ無理ハナイト存ジマス、或ハ三百万圓ニ止マラズシテ尙ホ四百、五百、六七百万圓マデモ地價修正ヲ致シテモ若シカラスト存ジマスガ、併シ是レハ一年二年デハ出来ルコトデハアリマセヌ、方法ヲ能ク立テマスレバ或ハ三年ニナスカ或ハ五年ニシテナスカ或ハ十年ニシテナスカ、他ニ物品稅ノ上ニ融通ヲ持ッテ居リマスレバマダ稅ノ増ス物モアリマセウカラ、政府ノ費用ヲ節減スルナラバ是レハ減少スルモノガアリマセウ、此二ツヲ以テ融通シテ善キ方法ヲ立テテ數年ヲ期シマスレバ何ゾ唯三百万圓位……唯今此議案ニ定メテアリマスル所ノ一億六千万圓ニ對スル三百万圓ソコイラノ節減位デ置クニハ及ビマセヌ、今日マダ其上ニ節減モ出来ヤウカト思ヒマス、然ラバ地價修正ノ趣意ヲ抹殺セズシテ之ヲ行フベキモノ、行ハナケレバナラストシマシタ所デ決シテ本員等ノ申ス所ノ勤儉、民ヲ安シジ兵ヲ整ヘル趣意ニ背クコトハナイト存ジマス、此處ノ點々ケハ同ジ勤儉説ナガラモ事ノ緩急順序ヲ言ヒマスト已ムヲ得ズ谷君トハ説ガ變ッテ參リマスノデゴザイマスカラ是レハ已ムヲ得マセヌ次第デアリマス、谷君ノ御説ハ私モ勿論其通りノ趣意デゴザイマスル、即チ速ニ紀淡ノ間ノ海防其外整ヘナケレバナラスト云フ御趣意ハ素ヨリ本員ハ欲シマスルガ如何セム内國ノ人ノ不

和ト云フモノハ是レハ大イニ恐ルベキモノデゴザイマス、即チ政府ノ仕掛リニナッテ居リマスカラ地租改正ノ時カラ今日マデノ續キデ政府ニモ不均ガアルト見レバコソ明治二十二年ニ三百餘万圓ノ地價修正ヲ致シタデアリマセヌカ、アノ時シテモ今日デハ出来ヌト云フコトハアリマセヌ、或ル反對論者ノ説ニアノ時ハ專制デ恩惠の出来タガ今日デハ權利的デアルカラ出来ナイト抑ッシヤリマセタガ是レハ今日ノ方ガ致シ易イ、十分出来ル、權利ガアツテ十分小言ヲ云ヘル、是レハ自治制ヲ施サレテ府縣會ナリ町村會ナリ郡會ナリアリマスレバ夫レ夫レ權利ノ平均ヲ取ル所ガチャント附ケテアリマスカラ何モ專制ノ時デアッテ恩惠のカラ出来タガ今日ハ出来ヌト云フコトハ決シテ言ハレマセヌ、右申シマシタ通り作用上、方法上ニ涉ッテ論ジマスルト論ハ限リノナイコトデアリマスガ即チ地價修正ト云フモノハ初メ地租ヲ改正シタ時ニ政府ノ處分上ニ於テ生ジマシタル上ノ不均平均ハ是非トモ直サナケレバナリマセヌニ依ッテ其趣意ヲ略シ現ハシマシテ二十二年ニ地價修正ト云フモノガアリマシテ政府モ素ヨリ之ニ付テナシタイ一杯ノ趣意ガ出来ズニ居ルト存ジマス、若シカ政府ガ地價ハ修正スベカラズ地租ハ今日ノ儘デ不均デナイト云フコトヲ斷定スレバ政府ハ政治上ニ於テ人ノ和ヲ願ミマセズ人ノ心ガ不和ニナッテ居リマシタモ宜シイト云ッテ抛擲シタト云ハザルヲ得マセヌガ決シテサウ云フ政府デハナイ、蓋シ二十二年ノ特別地價ハ其意ヲ忘レマセヌカラナシタノデ、猶ホナシタイナシタイト思ヒツ、モ經濟上ノ許スベカラザル所ヨリ今日ニ遲緩シテ居ル、良キ方法サヘアレバ行ハウト斯ク思ヒツ、アルト云フコトハ本員ノ明言シテ之ヲ信ジマスルノデアリマス、然ラズンバ政府ノ政治ト云フモノハ恐ラクハ立チマスマイト存ジマス、政治ヲ立テムト欲シマスレバ第一人民ノ義務タル租稅上ノ政府ノ處分ヲ以テ仕付ケテアル不均平均スル策ヲ取ラスト云フコトハ決シテ是レハ政府ニアルマジキコト、今日ノ賢明政府ニシテ決シテナイト存ジマス、然ラバ國防軍防ヲ整フルコトニ致サウガ今日地價修正ト云フコトハ十分善キ方法サヘ立チマスレバ何ニモ之ヲ害スルコトナク、加フルニ人民一般ノ力ヲ得テ國ノ基礎ヲ定メルコト是レヨリ出来マセウト存ジマス、然ラバ何モ軍國防ヲ整ヘルコトヲ目當トシテ今日地價修正ヲ止メヌナラスト云フコトハアルマジキ道理ト存ジマス、是レデ谷君ノ御説ニ對シマシタ辯明ハ終リマシタ、其他種々御説ガアリマシタガ約マリ茲ニ來マシタコトト思フ、モウ一ツ辯ゼヌナリマセヌノハ尾崎君ノ御説デゴザイマス、尾崎君ノ御説ハ實ニ大層ニ身代限ヲ持出シタ様ニ大層ノ説デアリマスカラ一々辯明スルコトハ出来マセヌ、餘リ時間ヲ長ク費シマスカラ最モ其中デ人ノ感シ易イ最モ私ノ不都合ト思フ一二ヲ取ッテ辯シマスレバ夫レ便宜シイト思ヒマス、尾崎君ノ御説ノ第一ニ申サレマシ

タノハ假令地租ニ平均ガアツテモ一遍賣買スレバ自然ト地租ノ安イモノハ高クナリ地租ノ高イモノハ安クナル其直段ニ依ツテ利ノ生ズルコトヲ見レバ平均ヲ得ルト主張サレマシタガ、是レハ以テノ外ノ間違ヒ、夫レハ幾十年經ツマデニハサウ云フコトハ自然ニ生ジテ來マセウ、是レガ自然ニ生ジテ來ルカラ地租ハ平均セヌデ宜イト云フ御説デアリマスレバ明治六年地租改正ハセヌデ宜シイ、アノ地租改正ハ舊幕ノ封建制度同様テ藩々其儘デアツテ地租ガ平均シテ居ラヌカラ改正スル是レガ地租改正ノ極意デゴザイマス、依ツテ地租平均ヲスルト云フモノハ改正ノ趣意デアツタカラシテ其地租ニ平均ガアレバ之ヲ平均スル様ニセヌナラヌト云フコトハ分ツテ居リマスガ、賣買上人民ノ融通上社會ノ經濟上デ地租ノ平均ヲ得ルカラ地租ハ平均デ宜シイト申サル、ナラバ明治六年ノ地租改正ヲ仕掛ケタノハ大變間違ヒ、アノ時ニ平均デアルノハ何デアルカ、元ノ租稅米ノ名儀デ代錢納メニセト言ヒマシタラ濟シテ話デアリマス、夫レヲ平均ガ惡ルイト云フコトカラ改メマシタノデ、アレマデト云フモノハ凡ソ二百有餘年ヲ經テ地所賣買ノ平均ト云フモノハハツキリ付イテゴザイマス、僅カ地租改正ヲシテ十有餘年シカ立タヌ時ニ其不平均ガハツキリ付テ居リマス、夫レデ地租ノ平均ヲ得ナイカラ改メルト云フコトニナツタ、夫レヲ今日買サヘシタラ平均スルカラ最早ウツチャツテ置クガ宜シイト云フコトハ是レハドウモナリマセヌコトト存ジマス、租稅ト云フモノハ社會ノ自然ノ成行ニ任シテ置クノハ政治デハナイ、其權ヲ執ツテ宜イ方ニ導イテ行クノガ本義デゴザイマス、地租ノ平均ヲ社會ノ平均經濟ノ平均ニ任セロト云フノハ是レハ尾崎君ノ説トモ思ハレヌ程ニ間違ッテ居ル、斯ノ如キコトヲ以テ理由トシテ此地價ノ修正ヲ駁スルト云フコトハ實ニ悲シイコトト存ジマスルノデゴザイマス、人民ガ之ヲ聞キマシタナラバ何ト申シマセウカ、夫レカラ運輸ノ便舟楫ノ利ニ依ツテ地價ヲ變スルカラシテ平均ハ出來ヌト云フコトハ尾崎君モ亦田尻君モ御同説デゴザイマシタガ是レハ今日以後ヲ想像シテ言ハレタコトデゴザイマシテ今日地租ヲ改正シテカラノ不平均ヲ言フ所トハ的ガ違フテ居リマス、今日マデ鐵道其他ノモノニ依ツテ多少變シタ所モアリマセウガ餘計ハ變ジマセヌ、即チ今日地價ノ修正ヲ唱ヘマスルノハ始ニ拵ヘタ不平均ヲ直シテ吳レト云フノデアル、今後ノ勢ニ依ツテ生ズルコトヲ想像シテ言フノデハゴザイマセヌ、果シテ尾崎君田尻君ノ説ニ據リマスルト全ク鐵道ガ天下ニ敷設ニナリ運河ノ便ガ全國盡ク出來タ上デナクテハ地租ハイラウコトハ出來ヌト云フコトニナリマセウガ、是レハ實ニ幾百年ノ後出來マスコトカ分リマセヌ、到底空漠タル議論ヲ以テ實際當該メテ言フノハ是レモ大キニ間違ッテ存ジマス、此様ナコトデハ決シテ論ニハナリマセヌノデゴザイマス、其本ニ歸ッテ政府ガ自ラ拵ヘタ所ノ地租ノ不平均ヲ直シテ平均セ

サルタメニ十分ニハ出來ズトモ幾分カ改正スルト云フノガ原案ノ趣意デゴザイマスカラ本員ハ此趣意ヲ大イニ贊成ヲ致シ熱心贊成ヲ致ス本員デアレバドウモ尾崎君等ノ説ハ九デ得手勝手ノ説ヲ以テ過去ツタコトヲ打ツテ其原因ヲ論ゼズニ唯先キノ成行ヲ想像シテ出來ナイトカ何ト云フテ仕舞フノハ是レハ無理ト言ハザルヲ得ヌテゴザイマス、是レハ滿場諸君ガ御聞下スツテモ本員ノ説ハ無理デハアルマイト思ヒマスルノハ是レハ皆シナ地租改正ヲ致シタ時ノ本ニ歸ッテ言フテ居ルノデゴザイマス、此他申スベキコトガ種々アリマスルノデゴザイマスルガ、最早諸君ノ御説ノ多ク重サナリマシタ上デゴザイマスルカラ餘リ多數ニ申シマスルト云フト却テ御感觸ヲ損ジマスカラ最早短縮致シマシテ即チ前ニ申シマシタ所ノ證據ヲ申シテ置キマス、明治六年七月二十八日ノ地租改正條例ト云フモノガゴザイマス、是レマデ早ヤ數多御讀ニナリマシタコトニ付キマシテ即チ其當時地租改正掛ノ松方伯ヨリシテ上奏ニナリマシタコトモ讀マレマシテゴザイマス、デ地租改正條例ノ六章ニ先刻本員ノ申シマシタ證據ガゴザイマス「地租ハ則地價ノ百分之一ニモ可相定ノ處未タ物品等ノ諸稅目與ラザルニヨリ先ヅ以テ地價百分ノ三ヲ稅額ニ相定候得共向後茶煙草材木其他ノ物品稅ノ追々發行相成歲入相増其收入ノ額二百萬圓以上ニ至リ候節ハ地租改正相成候土地ニ限リ其地租ニ右新稅ノ增額ヲ割合地租ハ終ニ百分ノ一ニ相成候迄漸次減少可致事」斯ク明瞭ニ言ツテアルノデゴザイマス、其他地租ノ平均ヲ得ヌナラヌ不平均デハ民ノ不幸デアルト云フコトガ地方官ノ心得書ニモ何ニモ書イテアリマス、是レハ一々讀マンデモ宜シウゴザイマスガ、右ノ通りノコトヲ條例ニ掲ゲテ人民ヲ導イテ人民モ今日ノ地租デハ少々ノ痛ミハアラウトモ五年目毎ノ改正ヲ樂ンデ其一時ノ苦情ヲ忍ビマシテ遂ニハ百分ノ一ニナルデアラウトモ五年目毎ノ改正ヲ樂ンデ其一時ノ苦情ヲ忍ビ尤モ稍烈シイ所ハ竹槍席旗ヲ持出スト云フコトモゴザイマシタガ是レガ定ツタト云フノハ唯此一事ヲ樂ニシテ居タニ相違ナイノデゴザイマス、然レニ明治十七年マデ五年目毎ノ改正モ行ハレマセヌデ遂ニ今日ノ現行地租條例ニ變ツタ時ニハ斯ノ如キコトハ皆消エタ姿ニナリマシタケレドモ、地租改正條例ヲ變ヘテ地租條例ト致シマシテモ初メニ人民ノ精神ヲ誘導シタ所ノ地租ハ遂ニ百分ノ一ニスルノデト云フコトハ到底滅却スベキモノデハゴザイマセヌ、又政府モ地租改正條例ヲ地租條例ト變ヘマシタ所ガ此初メノ趣意ヲ滅却スルコトハ義務トシテ出來ナイ、是レガ有ツタレバコソ人民ガ靜ニ夫ヲ樂ミニシテ中頃苛酷ニ涉ツタ時モゴザイマシタガ五年一遍ノ改正ヲ經テ遂ニハ此百分ノ一ニ歸スルト云フコトヲ握ツテ居リマスカラシテ地租ノ平均ヲ言立テマスルノモ皆詰マリハ此ニ至ルト云フコトヲ樂ニスルノデゴザイマス、サウシテ見マスレバ今日地價ヲ修正スル上ニ就テ低イ所ヲ増シ高イ所ヲ減ツテ

平均ヲスルト云フコトハ此地租改正條例第六章ノ趣意ニ適ヒマセヌカラ出來
ヌコトデゴザリマス、低イ所ハ既ニ百分ノ一二近クナツテ居ルノデゴザリマス
カラ之ヲ上ゲルコトハ此章ニ對シテハ出來マセヌ、是レハ地租輕減ト云フ方
ニ近寄ル様デゴザリマス、然レハ趣意ガ違フノデゴザリマス、併シ地價修正ノ平
均ト云フモノハ終ニ百分ノ一ニナルマデ往カズンバ眞ノ平均ト云フコトハ出
來マセヌ、然ラバ今日人民ガ地價ノ不平均ヲ以テ地租ノ高イノヲ訴ヘルノハ
更ニ無理トハ言ヘマセヌ尤モ至極ノコトデゴザリマス、唯國家ヲ經綸スル政
府ニ於テ他ニ必要ノ事業ガアルカラ是レガ出來ヌト云フコトナレバ夫レハ今
日萬國競爭ノ日ニ當リマシテ唯一方向キノ仕事バカリハ出來マセヌニ依ッテ
是レハ人民モ耐ラヘヌナリマセヌケレドモ最早地租改正以來十有餘年モ耐ラ
ヘタノデゴザリマス、尙ホ此上ニ耐ラヘヤウ耐ラヘヤウト致シマシタ所ガ夫
レハ耐ラヘキレマセヌニ因ッテ終ニ人心ノ不和ヲ惹起シマスカラ最早今日ハ
著手ヲスベキノ時ト信ジマシタ本案ノ趣意精神ヲバ唯熱心ニ贊成ヲ致シマシ
タノデゴザリマス、然ルニ此方法デ宜イカト申シマスレバ此原案ノ方法ハ甚
ダ粗糲ナト存ジマス、是レハ衆議院ニ於キマシテモ事ヲ急ギマスル上カラシ
テ方法ノ穿鑿ガ屈キマセズ早ク拊ヘタイ一杯デ急イダモノト見エマシテ諸君
ノ反對ノ御論ノアル通り殊ニ粗造ナ方法ヲ以テ一時ニ行ウト致シマスレバ先
キノ手數上ニ於テ弊害ヲ起シマセヌカト云フノニ御同意デアリマス、此方
法ニハ本員モ不同意ヲ致シマス、之ヲ不同意ヲスレバ如何、終ニハ趣意精神ヲ
モ抹殺スルカト言ヘバサウハナリマセヌ、是ニ於テ之ヲ御贊成ニナル諸君ニ
於テモ原案ノ儘全部贊成ト云フ方ト又是レハ趣意ハ宜イケレドモ方法ニ於テ
至ラヌ所ガアルカラ斯ク修正ヲスベシ斯ウ改ムベシ斯ウモシタレバ出來ルト
去フ方モ澤山アルダラウト思ヒマス、本員等ノ信ジマスルニハ是レモ修正ノ
一ツニナリマスルガ即チ本案ノ第何條カニ特別地價修正審查會ヲ設ケルト云
フコトガアリマスルカラ是レニ由ッテ見マスレバ會ヲ設ケルト云フ趣意ニ依ッ
テ即チ此方法ヲ定メル、地價修正委員會ヲ政府ニ於テ設ケマシテ衆議院ノ人
モ採リ或ハ貴族院ノ人モ採リ或ハ其他ノ出來ル人ヲモ採リマシテ先ヅ其方法
カラ十分ノ詮議ヲ遂ゲマシタナラバ全備致シタ方法ガ立ツデアラウ其上方
シテモ宜シイ、或ハ是レマデ承リマスルノニ原案ヲ贊成ノ方ニモ或ハ金額ヲ
斯ウ斯ウシヤウトカ、或ハ其方法ヲ變ヘヤウカト云フ斯ウ云フ御説モ澤山ア
ルト信ジマス、唯趣意精神ハ宜シイケレドモ已ムヲ得ズ原案ノ方法ニハ反對ヲ
スルト云フノハ、誠ニ苦シイ話デハゴザリマスルケレドモ奈何セム此儘ノ粗
造デハ往ケマセヌカラ是ニ於テ一説ヲ出サヌナラヌト云フノ時機ガ來ッタノ
デ、本員ノ演説ハ此ニ止メマシテ爰ニ一ノ動議ヲ提出致シマスルモノハ斯様
ナ譯デゴザリマシテ是レハ反對ノ御方ト雖モ趣意ハ惜ムベシダケレドモ已ム

ヲ得ズ反對ヲスルト云フ御方モゴザリマセウ、又方法順序カラ全部御贊成ノ
御方モアリ或ハ修正ヲシタレバ夫レデ贊成モ出來ルト云フ方モアル際デアリ
マスカラ之ヲ修正スルニハ議場ノ煩雜ナル中デハドウシテモ折合ガ付キマセ
ヌ、大概今日マデ説ガ立ッテ居リ諸君モ御研究ニナツタコトデアルカラ委員
モ早ク濟ミマシタノデゴザリマスルガ委員會ニ於テ諸君ノ御修正ノ御説ヲ承
ルコトハ洵ニ少ナウゴザリマシタ、所ガ一昨日以來段々續キマシタ會デ諸君
ノ御説モ進ミ出テ居リマスルカラ今一應委員會ヲ設ケテ之ヲ調査スルノガ必
要デアラウト思ヒマス、故ニ本員ハ更ニ審查委員ヲ設ケテ之ヲ付託致シマシ
テ今一遍之ヲ研究致シテ提出ヲスルト云フコトニ致シタイ、此動議ヲ是ニ於
テ提出致シマシテ此演説ヲ終ヘマス、

○村田保君 唯今三浦君ガ特別委員ヲ更ニ置キ直スト云フコトデゴザリマ
スルガ、其委員ハ何名デゴザリマスルカ、

○三浦安君 即チ委員ハ九名ニシテ部選ヲ以テスルコトデゴザリマス、

○村田保君 本員モ三浦君ト同感デアリマシテ三浦君ノ動議ヲ贊成致シマ
ス、ナゼナレバ三浦君ハ地價特別修正委員ノ一人デアリマス、委員ノ中ニモ
説ガ種々ニ分レテ居リマス、故ニドウモ此委員ノ審查ト申シマスルモノモ未
ダ十分ナラヌト本員ハ認メマスカラ、委員ヲ組直スト云フコトハ隨分當然ノ
コトト考ヘマスカラ三浦君ヲ贊成致シマス、

○山口尙芳君 唯今更ニ委員ヲ設ケマスルコトニ付テ贊成モゴザリマスル
ガ三浦君ハ委員デハゴザリマセヌ、夫レデ此委員ニ於テハ粗漏ガアルト言ハ
レマスガ決シテ粗漏ハナイノデ有リ丈ケノ智囊ヲ振ッテ此報告ヲ致シタノデ、
又唯今十分熱心ニ論ゼラル、所モゴザリマスルガ、此方法ヲ穿鑿スルナドト
云フコトハモウ他ニ途ハナイト飽クマデ信用致シマス、又此議場ニ於キマ
シテハ既ニ三日ノ討論デ是非ノ所ニ付テハ十分御決定ニナツテ居リマセウト
考ヘマス、既ニ先刻ハ討論終局ノ動議モ出タ位デゴザリマスカラ私ハ唯今
贊成ノアルニ拘リマセズ實ハモウ決ヲ採ラレマスル所ノ時機ト考ヘマス、

○子爵小笠原壽長君 本員ハ討論終局ノ動議ヲ提出致シマス、是レニハ退
退初メカラ容易ニハ出サヌト云フコトデアリマシタケレドモ、最早反對贊成
ノ者モ數人度々討論モアリマシテ最早十分デアラウト考ヘマス、今更委員ヲ
設ケテ審查スルニハ及ブマイト考ヘマスカラ本員ハ討論終結ノ動議ヲ提出致
シマス、

○子爵新莊直陳君 贊成、

○男爵杉溪言長君 贊成、

○桑田藤十郎君 贊成、

○山川浩君 小笠原君ニ贊成、

〔島内武重君〕諸君モウ少シコラヘタラ如何デセウ、斯ル重要ノ問題ニ對シテ議員タル者……ト述ブルヤ無用無用ト呼ブ者アリ

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 島内君、發言ヲ許シテハ居リマセヌ、……唯今三浦君ヨリ動議ガ出シタ、三浦君ノ御説ハ委員ヲ改選シテ付託スルト云フ御説ト思ヒマシタガ左様デゴザリマシタカ、

○三浦安君 左様、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 然ラバ本院規則ノ第四十九條ニ其明文ガゴザイマスニ依ッテ、此動議ニ賛成モゴザイマスニ依ッテ決ヲ採リマス、三浦君ノ説ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者 少數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 少數デゴザイマス、次ニ討論終局ノ動議ガ小笠原子爵ヨリ出テ居リマス、賛成モアリマスニ依ッテ決ヲ採リマス、小笠原子爵ノ動議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者

〔多數多數〕又ハ〔少數少數〕ト呼ブ者アリ

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 御靜肅ニ願ヒマス……過半数デゴザイマス、

○男爵金子有卿君 少數ト認メマスニ依ッテ氏名點呼ヲ願ヒマス、

〔ヨシタマヘ〕ト呼ブ者アリ、島内武重君ハ金子君ニ賛成ト述ベ、男爵伊達宗敦君ハ今ノハ判然多數ト分テ居リマスカラ金子君ニ於テ今ノ動議ヲ御取消ニナルコトヲ望ミマスト述ベ、男爵金子有卿君ハ

〔決シテ取消シマセヌ〕ト述ベ

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 氏名點呼ヲ行ヒマス、

〔氏名點呼ヲ行フ〕

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) ドウカ能ク分ル様ニ反對賛成ヲ仰シヤッテ下さい、

〔續イテ氏名點呼ヲ行フ〕

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 氏名點呼ノ結果ヲ御報道ニ及ビマス、出席議員總數百七十、可トスル議員八十六、否トスル議員八十四、依ッテ討論ハ終結ニ相成リマシテゴザリマス、次ニ表決ハ本院規則第七條ニ據リマシテ記名投票ヲ以テ致サウト思ヒマス、

○子爵曾我祐準君 無記名投票ノ議ヲ提出致シマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 夫レハイケマセヌデゴザイマス、最早本院規則第七條ニ據リテ必要ト認ムルトキ……記名投票ヲ以テ表決ヲ爲サシムヘシト云フ明條ニ據ッテ宣告ヲ致シマシタノデアリマス、時機ガ後レテ居リマスカライケマセヌ、依ッテ直ニ投票ニ取掛リマス、例ノ如ク問題賛成ノ議員ハ白

色票、問題ニ反對ノ議員ハ青色票ニ各御記名ニナルコトヲ希望シマス、

〔書記官投票用紙ヲ配付ス〕

○侯爵醍醐忠順君 念ノタメニ伺ヒ置キマスガ、是レハ第二讀會ニ移ルベキヤ否ヤノ問題トナリマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 即チ是レハ第二讀會ヲ開クベキヤ否ヤノ決デゴザイマス、第二讀會ヲ開クベシトスル議員ハ白色票ヲ、第二讀會ヲ開クベカラズトスル議員ハ青色票ニ御記名ニナル譯デゴザンス、

○男爵榎村正直君 チョット伺ヒマスガ委員長ノ報告ノ通りニシマスル分ガ白デアリマス、青デゴザイマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 是レハ委員長ノ報告ニ何モ關係ハ無い、即チ本案第二讀會ニ移ルベキヤ否ヤノ決デアリマス、初メノ宣告ガ届キマセヌカラ御惑モアツタカ知リマセヌガ、即チ第二讀會ヲ開クベキヤ否ヤノ決デゴザイマスニ依ッテ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ハ白色票ヲ、開クベカラザルト云フ諸君ハ青色票ニ御記名ニナルノデ……

○子爵谷干城君 伺ヒマス、廢案説ノ者ハ青デ宜ウゴザンスカ、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 其通り、

○三浦安君 苟モ修正説ヲ有スル者ハ白色票ト思ヒマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 投票ノタメニ氏名點呼ヲ行ヒマス、

〔氏名點呼ヲ行フ〕

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 投票終リマシタニ依ッテ開函ヲ致シマス、

〔書記官投票ヲ計算ス〕

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 投票ノ結果ヲ御報告ニ及ビマス、投票總數百七十二、白色票即チ可トスル議員ガ四十七、青色票即チ否トスル議員百二十五、依ッテ是レハ第二讀會ニ移ルベカラザルモノト決シマシテゴザイマス、次ニ明日ノ議事日程ヲ御報告ニ及ビマス、午前十時開議、第一請願副委員長三浦安君ノ報告、第二、版權法案、衆議院提出、第一讀會、第三、右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉、第四、政談集會及政社法案、衆議院提出、第一讀會、第五、右議案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉、第六、民法商法修正審査委員ヲ設クルノ建議案、小畑美稻君發議、會議、第七、製鋼原料並ニ製鋼所組織ノ調査ニ關スル建議案、子爵内藤政共君發議、會議、本日ハ御退出前ニ先刻ノ各部ニ於テノ鐵道敷設法案ノ委員ノ選舉ヲナサレムコトヲ希望致シマス、

本日ハ是レニテ散會、

午後四時十分散會